KL-H5
取扱説明書
保証書別添

J Z

はじめに

準備編

おためし印刷編

ラベル作成編

入力・編集編

設定編

付録

ご使用の前に本書の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
本書はお読みになった後も、大切に保管してください。

CASIO®

RJA516040-001V01

ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。

あらかじめご承知いただきたいこと

■本書はKL-H5について説明しています。

■本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点やお気付きの点などがありましたらカシオテクノ修理相談窓口までご連絡ください。

■本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

■故障、修理、その他の理由に起因するメモリー内容の消失による、損害および逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

■本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。個人としてご利用になる他は、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。

■本書の内容は改良のため、将来予告なく変更することがあります。

■本書は、紙メディアである性質上、この中に説明されているソフトが完成するかなり前に印刷されます。このため、本書の印刷終了後に行われたソフトウェア上の細部の変更、また画面の変更などに、一部対応しない部分が出る可能性があります。また、本文中の印刷例や表示画面などは、実物と多少異なる場合があります。ご了承ください。

当社では「廃棄物ゼロ」を実現するため、使用済みのテープカートリッジを回収/分解し、再資源化しております。
使用済みのテープカートリッジはお買い求めの販売店までお持ちください。

安全上のご注意

このたびは本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用になる前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。本書は、お読みになった後も、いつでも見られる場所に保管してください。

危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険がさし迫って生じることが想定される内容を示しています。
警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

⦸ 記号は「してはいけないこと」を意味しています（左の例は分解禁止）。

● 記号は「しなければならないこと」を意味しています。

⚠ 危険

アルカリ電池について

アルカリ電池からもれた液が目に入ったときは、すぐに次の処置を行ってください。

1. 目をこすらずにすぐにきれいな水で洗い流す。
2. ただちに医師の治療を受ける。

そのままにしておくと失明の原因となります。

⚠ 警告

煙、臭い、発熱などの異常について

煙が出ている、へんな臭いがする、発熱しているなどの異常状態のまま使用しないでください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. ACアダプター使用時は、プラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口に連絡する。

ACアダプターについて

ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。
次のことは必ずお守りください。

- 必ず本機専用の別売品を使用する
- 電源は、AC100V(50/60Hz)のコンセントを使用する

- 1つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐ、いわゆるタコ足配線をしない

⚠ 警告

ACアダプターについて

電源コードは使いかたを誤ると、傷がついたり破損して、火災・感電の原因となります。
次のことは必ずお守りください。

- 重いものを乗せたり、加熱しない
- 加工したり、無理に曲げない
- ねじったり、引っ張ったりしない

- 電源コードやプラグが傷んだらお買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口に連絡する

ACアダプターについて

- 濡れた手で電源コードやプラグに触れないでください。
  感電の原因となります。
- AC アダプターは水のかからない状態で使用してください。水がかかると火災や感電の原因となります。
- AC アダプターの上に花瓶など液体の入ったものを置かないでください。水がかかると火災や感電の原因となります。

⚠ 警告

電池について

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となります。次のことは必ずお守りください。

- 分解しない、ショートさせない
- 加熱しない、火の中に投入しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池を混ぜて使用しない
- 充電しない

- 極性（＋と－の向き）に注意して正しく入れる

落とさない、ぶつけない

本機を落としたときなど、破損したまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. ACアダプター使用時は、プラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口に連絡する。

分解・改造しない

本機を分解・改造しないでください。感電・やけど・けがをする原因となります。

内部の点検・調整・修理はお買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口にご依頼ください。

⚠ 警告

水、異物はさける

水、液体、異物(金属片など)が本機内部に入ると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. ACアダプター使用時は、プラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口に連絡する。

火中に投入しない

本機を火中に投入しないでください。破裂による火災・けがの原因となります。

袋をかぶらない、飲み込まない

本機が入っていた袋をかぶったり飲み込んだりしないでください。窒息の原因となります。
特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

電子レンジでの加熱に使う容器にはラベルを貼らない

電子レンジでの加熱に使用する容器には、ラベルを貼らないでください。ラベルに使用している材質に金属が含まれているため、電子レンジで加熱すると発火や火傷の原因となります。
また、ラベルを貼ったものが変形することがあります。

⚠ 注意

ACアダプターについて

ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- ストーブ等の熱器具に近づけない
- プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない（必ずACアダプター本体のプラグを持って抜く）

- プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
- 旅行などで長期間使用しないときはプラグをコンセントから抜く
- ご使用後は電源スイッチを切り、プラグをコンセントから抜く
- ACアダプターの刃と刃の周辺部分にほこりがたまらないように、コンセントから抜いて、年1回以上清掃する。

電池について

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- 本機で指定されている電池以外は使用しない

- 長時間使用しないときは、本体から電池を取り出しておく

⚠ 注意

大切なデータは控えをとる

本機に記憶させた内容は、ノートに書くなどして本機とは別に必ず控えを残してください。本機の故障、修理や電池消耗などにより、記憶内容が消えることがあります。

重いものを置かない

本機の上に重いものを置かないでください。
バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

置き場所について

本機を次のような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

- 湿気やほこりの多い場所
- 調理台のそばなど油煙が当たるような場所
- 暖房器具の近く、ホットカーペットの上、直射日光が当たる場所、炎天下の車中など本機が高温になる場所

⚠ 注意

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や高い棚の上など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

乾電池のセットおよび乾電池交換時の注意

本機電池収納部内の電池バネには、鋭利な部分があります。「乾電池をセットするとき」や「乾電池を交換するとき」には、電池バネには触らないでください。指を切るおそれがあります。

表示画面について

- 液晶表示画面を強く押したり、強い衝撃を与えないでください。
  液晶表示画面のガラスが割れてけがの原因となることがあります。
- 液晶表示画面が割れた場合、表示画面内部の液体には絶対に触れないでください。
  皮膚の炎症の原因となることがあります。
- 万一、口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。
- 目に入ったり、皮膚に付着した場合は、清浄な流水で最低15分以上洗浄したあと、医師に相談してください。

⚠ 注意

高温注意

プリンターヘッドおよびまわりの金属部分には触らないでください。高温になるため、やけどするおそれがあります。

テレビ・ラジオのそばでのご使用について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

ご使用上の注意

本機を末ながくご愛用いただくために以下の点にご注意ください。

- 直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、静電気の発生しやすい場所、急激な温度変化がおこる場所、極端な高低温下での使用は避けてください。使用温度範囲は、10℃～35℃です。
- 10℃未満の低温下で使用すると、電池の特性上、電池容量が低下するため画面に「電池残り少」と表示されやすくなります。その場合は、本機を使用温度範囲(10℃～35℃)の環境に戻してからご使用ください。
- 強い衝撃や大きな力を加えないようにご注意ください。
- プリンター部分にクリップやピンなどを落とさないでください。
- テープを無理に引き出したり、押し込んだりしないでください。
- プリンターヘッドが汚れると、印字が不鮮明になります。この場合は、お手入れの方法（108ページ）をご覧になり、プリンターヘッドやゴムローラーをきれいにしてください。

もくじ

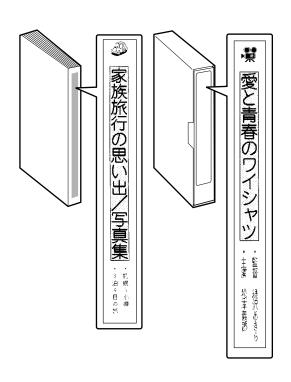
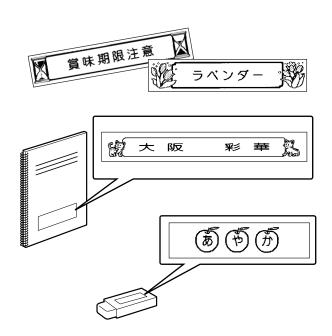
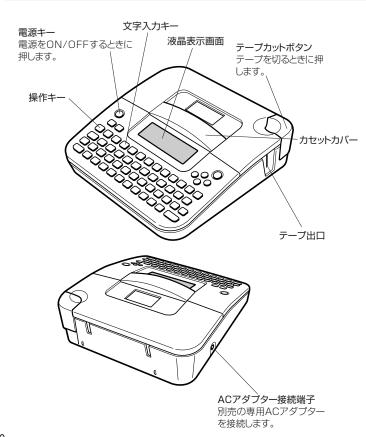
入力・編集編 ………………………… 70

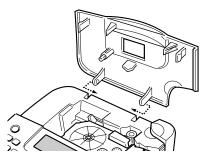
こんなことができます

ビデオカセットや名前などの、さまざまなラベルの印刷ができます。

賞味期限注意
ラベンダー
大阪　彩華
あやか

各部の名前とはたらき

電源キー
電源をON/OFFするときに押します。
文字入力キー
液晶表示画面
テープカットボタン
テープを切るときに押します。
操作キー
カセットカバー
テープ出口
ACアダプター接続端子
別売の専用ACアダプターを接続します。

■テープカートリッジ収納部のカバーが外れてしまったら

テープカートリッジ収納部のカバーが外れてしまったときは、図のようにセットしてください。カバーを無理な方向に曲げたりねじったりすると、突起や穴が破損する恐れがありますのでご注意ください。

付属品を確認しましょう

KL-H5本体

単3形アルカリ乾電池
6本

お試し用テープカートリッジ

本書
保証書

本機を使う前の準備

操作の流れ

乾電池のセット 24ページ
または別売のACアダプターの接続 104ページ

テープカートリッジの取り付け 30ページ

自由に入力して作る
フリーラベル 53ページ
フリーラベルの編集機能
54ページ

用途に応じて作る
定型フォーマット
名前シール
46、50ページ

印刷する 40ページ

電源について

本機を使うときは、電源として同梱のアルカリ乾電池または別売のACアダプターを使います。

• 別売のACアダプターの接続のしかたは、104ページをご覧ください。

乾電池で使う

同梱の単3形アルカリ乾電池を6本使用します。（必ずアルカリ乾電池をご使用ください。）

■取り付ける

1 **本体裏側の乾電池カバーを取り外します。**

カバーに無理な力（逆に曲げるなど）を加えないでください。故障の原因となります。

2 **乾電池をセットします。**

⊕と⊖の向きに注意してセットしてください。

3 **カバーを取り付けます。**

- 「電池残り小」と画面に表示されたときは、できるだけ早く新しい単3形アルカリ乾電池に交換することをおすすめします（26ページ）。
- 10℃未満の低温下で使用すると、電池の特性上、電池容量が低下するため、画面に「電池残り小」と表示されやすくなります。
  その場合は、本機を使用温度範囲（10℃～35℃）の環境でご使用ください。
- 電源が入っている状態で乾電池やACアダプター（27、105ページ）を取り外さないでください。一時的に保存された作成中の文章や本機に登録した文章、設定された内容が消去されてしまいます。
- 「電池からACアダプターに切り替えるとき」「ACアダプターから電池に切り替えるとき」は、必ず、一度電源を切ってからACアダプターの接続や電池のセットをしてください。電源を入れた状態で行うと、電源が切れて作成中の文章が消去される場合があります。
- 松下電池工業製オキシライド乾電池ZR6Yを使用して印刷しているときは、電池消耗メッセージが出る前に本機の電源が切れることがあります。

電池寿命について

標準印刷条件で、18mmテープカートリッジ約4巻分の印刷ができます。

- 黒い部分の多い文字を印刷したり、低温下で使用した場合は、電池寿命は短くなります。
- 長期間ご使用にならない場合は、アルカリ乾電池を取り外して保管してください。
- 本機をご使用にならない場合も、2年に1度は必ず乾電池を交換してください。

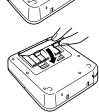
付属の電池は、工場出荷時より微少な放電による消耗が始まっています。そのため、製品の使用開始時期によっては、所定の使用時間に満たないうちに寿命となることがあります。あらかじめご了承ください。

■交換する

電池が消耗したときは、以下の手順で新しい電池に交換してください。
（必ずアルカリ乾電池をご使用ください。）

1 **本体裏側の乾電池カバーを取り外します。**

2 **中に入っている乾電池をすべて取り出します。**

3 **新しい乾電池をセットします。**
⊕と⊖の向きに注意してセットしてください。

4 **カバーを取り付けます。**

⚠ 危険

アルカリ電池について

アルカリ電池からもれた液が目に入ったときは、すぐに次の処置を行ってください。

1. 目をこすらずにすぐにきれいな水で洗い流す。
2. ただちに医師の治療を受ける。

そのままにしておくと失明の原因となります。

⚠ 警告

電池について

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となります。次のことは必ずお守りください。

- 分解しない、ショートさせない
- 加熱しない、火の中に投入しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池を混ぜて使用しない
- 充電しない
- 極性(+と-の向き)に注意して正しく入れる

⚠ 注意

電池について

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- 本機で指定されている電池以外は使用しない
- 長時間使用しないときは、本機から電池を取り出しておく

乾電池のセットおよび乾電池交換時の注意

本機電池収納部内の電池バネには、鋭利な部分があります。「乾電池をセットするとき」や「乾電池を交換するとき」には、電池バネには触らないでください。指を切るおそれがあります。

データの保持について

- 「電源が入っている状態」や、電源を切った後も、表示画面が完全に消えるまでは、乾電池や別売のACアダプター(104ページ)を取り外さないでください。一時的に保存された作成中の文章や本機に登録した文章、設定された内容が消去されてしまいます。
- 本機に登録しているデータ(文字や文章など)は、ノートなどに控えをとっておいてください。

はじめて使うときは「メモリーの初期化」を！

ご購入後、本機をはじめて使うときは、必ず**メモリーの初期化**という操作をします。「メモリーの初期化」をしないと、正しく動かないことがあります。

重要 メモリーの初期化をすると、本機に記憶したデータが消えてしまいますので、必要のないときはメモリーの初期化をしないでください。

1 電源が切れていることを確認します。

画面に何か文字があるときなど電源が入っているときは、(ON/OFF)を押します。

2 (印刷)と(取消し)をいっしょに押しながら、(ON/OFF)を押します。

- (印刷)、(取消し)、(ON/OFF)を押していた指はほぼ同時に離します。
- 「メモリー初期化？」が表示されます。

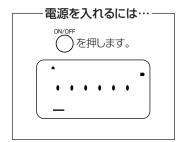
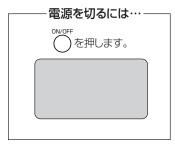
3 (実行)を押します。

「初期化しました」と表示された後、文字入力画面が表示されて、本機が使用可能になります。

メモリーとは
本機内部にあり、作成した文章などを記憶する場所です。

「メモリーの初期化」とは
本機が正常な動作をするために、電気的な設定を行うことです。
「メモリーの初期化」を行うと、画面に表示されている文章とメモリーに記憶されているデータは消えてしまいます。
また、いろいろな設定も製造時に定められた設定に戻ります。

電源を入れる・切る

いちど「メモリーの初期化」をしたら、次からは ON/OFF ◯ を押すだけで本機が使えます。

• 画面の明るさを調整するときは、101ページをご覧ください。

オートパワーオフ(節電)機能について

何も操作をしないで、約6分間電源を入れたままにしておくと、電源は自動的に切れます。これを**オートパワーオフ機能**といいます。
ふたたび本機を使うときは、ON/OFF ◯ を押してください。

メモリーの復帰について

文書作成中に電源を切ったりオートパワーオフ機能がはたらいたときは、一時的にメモリーに保存されます。電源を入れて「[実行]で復帰」と表示されたときは、(実行)を押すと、メモリーに保存されていた内容が画面に表示されます。
※定型フォーマット、名前シールで作成中の文章は復帰できません。

テープカートリッジを取り付ける/取り外す

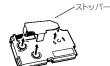
ラベルに印刷するときには、テープカートリッジが必要です。
付属品および別売のテープカートリッジをお使いください。(別売品一覧→137ページ)

テープカートリッジを取り付ける

1 ON/OFF ◯ を押して、電源を切ります。

2 カセットカバーの中央部分に指をかけて、カバーを開けます。

カバーの開閉時には、「可動範囲以上に動かそうとする」などの無理な力を加えないようにしてください。無理な力を加えると、故障や破損の原因となります。

3 テープカートリッジについているストッパーを取り外します。

4 テープの先が折れ曲がっていないことを確認します。

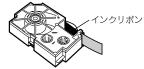
テープの先が折れ曲がっていたら、ハサミで曲がった部分を切ってください。

5 テープがテープガイドにきちんと通っているか確認します。

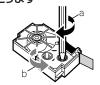
テープガイドから外れているときは、イラストのようにテープの先をテープガイドに通してください。

6 テープを約3cm引き出します。

- 一度引き出したテープを戻すことはできません。
- 無理に引き出さないでください。インクリボンが切れるなど、故障の原因になります。

7 インクリボンがたるんでいないか、確認します。

インクリボンがたるんだままテープカートリッジをセットすると、インクリボンが切れるなど、故障の原因になります。

インクリボンがたるんでいたら、たるみをとります

インクリボンがたるんでいたら、aのように、右上の軸をえんぴつなどで矢印方向に回します。bの方向に左下の軸が回りはじめるまで右上の軸を回してください。
このとき、テープはいっしょに動きません。

8 **ヘッドスイッチをイラストの矢印の方向にスライドします。**

9 **テープカートリッジをセットします。**

インクリボンが引っかからないように注意しながら、テープとインクリボンがプリンターヘッドとゴムローラーの間を通るように取り付けます(下図)。テープカートリッジはカチッと音がするまで奥に押し込んでください。

正しくセットしないと、リボン切れの原因となります。

10 カバーを閉めます。

- カバーは、しっかりと閉めてください。
- テープカートリッジをセットしたら、テープを引き出したり押し込んだりしないでください。

テープカートリッジを取り外す

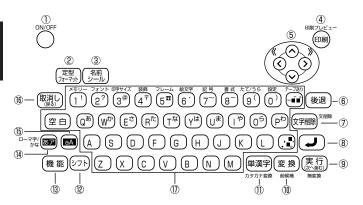
1 ON/OFF を押して電源を切ります。

2 カセットカバーの中央部分に指をかけて、カバーを開けます。

3 ヘッドスイッチをイラストの矢印の方向にスライドします。

4 テープカートリッジの左右に指を入れて、まっすぐ上に引き抜きます。

キーのはたらき

ここではキーの主な使いかたについて説明します。

①	ON/OFF	電源を入／切するときに押す。
②	定型 フォーマット	定型フォーマットを使うときに押す。(47ページ)
③	名前 シール	名前シールを作成するときに押す。(50ページ)
④	印刷プレビュー 印刷	•印刷するときに押す。 •印刷結果を画面で見るときは 機 能 を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑤	《 》	•文字が入る位置を示した＿を動かすときに押す。 •項目などを選択するときに押す。

⑥	後退	カーソルの前の文字を消すときに押す。
⑦	文字削除 文削除	入力した文字や作成した文章を削除するときに押す。
⑧	↵	改行するときに押す。
⑨	実行(次へ進む) 無変換	操作を進めるときに押す。
⑩	変換 前候補	•ひらがなを漢字などに変換するときに押す。 •1つ前の変換に戻るとき(前候補)は、機能を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑪	単漢字 カタカナ変換	1文字ずつ漢字に変換するときに押す。
⑫	シフト	アルファベットを入力しているとき、1文字だけ大文字(または小文字)を入れる場合に押す。(82ページ)
⑬	機能	キーの上下または横に機能と同じ色で書かれている機能を使いたいときは、まずこのキーを押す。
⑭	ローマ字/かな あア	•ひらがなとカタカナを使い分けるときに押す。(72ページ) •ローマ字入力とかな入力を切り換えるときは、機能を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑮	aA	アルファベットの小文字と大文字を使い分けるときに押す。(72ページ)
⑯	取消し(戻る)	操作を戻したり、中止したりするときに押す。
⑰	(文字キー)	文字を入れるときに押す。

キーの表記について

●本文中では、操作手順の中で使うキー（ボタン）を[1 ']や(実行)などのように表記しています。

例　[1 ']を押したあとに続けて(実行)を押すときの表記

↓

[1 '](実行)と押します。

●本機のキーの上下または横に(機能)と同じ色で書かれている機能（「装飾」や「カタカナ変換」など）を使うには、(機能)を押し、指を離してから(機能)と同じ色で書かれている機能名のキーを押します。

例　「装飾」機能を使うときの表記

↓

(機能)を押し、指を離してから(装飾 4 〒)を押します。

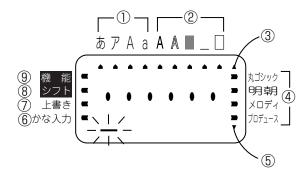
●操作手順の中で、「(△)(▽)(＜)(＞)を押して…」「(△)(▽)を押して…」「(＜)(＞)を押して…」と表記されているときは、そのキーのどれかを何回か押してください。4つまたは2つのキーすべてを押す必要はありません。

●1つ前の画面に戻りたいときや、操作をやり直したいときは (取消し) を押します。

● (取消し) を何回押しても希望の画面に戻らないときは、(ON/OFF)を押して一度電源を切ります。(ON/OFF)を押して再び電源を入れて、はじめから操作をやり直してください。

画面の見かた

本機の画面には、いろいろなマークが出てきます。ここではそのマークの意味やはたらきについて説明します。

- 画面の明るさを変えるときは、101ページをご覧ください。

①	入力できる文字の種類を示す。(72ページ)
②	文字飾りが何になっているかを示す。(97ページ)
③	いま見えている画面より上にも文字などがあることを示す。
④	書体(フォント)が何になっているかを示す。(92ページ)
⑤	いま見えている画面より下にも文字などがあることを示す。
⑥	入力方法が「かな入力」になっていることを示す。(71ページ)
⑦	入力方法が「上書き」になっていることを示す。(89ページ)
⑧	(シフト)を押したことを示す。
⑨	(機能)を押したことを示す。

まずは作ってみましょう

準備ができたら、試しに「ラベルの印刷」をしてみましょう。

ラベルに印刷する

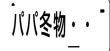
［印刷例］

パパ冬物

1 ON/OFF ◯ **を押して、電源を入れます。**

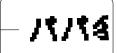
2 **文字を入力します。**

ここでは「パパ冬物」と入力します。

・文字の入力方法については、43ページをご覧ください。

■印刷結果を画面で確認する

印刷する前に、印刷結果を画面で確認することができます。テープカートリッジをセットしていないと、印刷結果を画面で確認することはできません。

1 **(機能)を押し、指を離してから(印刷)を押します。**

どのように印刷されるのか、そのイメージが画面に流れます

2 **じっくりと見たい部分が流れてきたら、(実行)を押します。その部分が止まります。**

(実行)を押すと、再びプレビュー画面が流れます。

- プレビュー表示を中止するときは(取消し)を押します。
- 細い線のある文字や字画の多い漢字は正しくプレビュー表示されない場合があります。
- 幅の狭いテープをセットしているとき、ラベルが2行以上のとき（54ページ）、ラベルに文字飾りをつけたとき（97ページ）なども正しくプレビュー表示されない場合があります。

■印刷する

作成したラベルは簡単に印刷できます。

重要 **印刷する前に、テープ出口（20ページ）が物などでふさがっていないことを確めてください。**

- テープカートリッジがセットされていることを確認してください（30ページ）。

1 **(印刷)を押します。**

印刷が始まります。

- 印刷を途中でやめるときは、(取消し)を押します。

重要
- **印刷中に、絶対に電源を切らないでください。**
- **印刷中に、本体のカセットカバーまたは乾電池カバーは絶対に開けないでください。**
- **印刷中に出てきたテープは、印刷が終了するまでさわらないでください。**
- **印刷の途中でテープがなくならないように十分残量のあるテープカートリッジをご使用ください。印刷の途中でテープがなくなったときは、(取消し)を押して印刷を中止してください。**
- **テープ出口のまわりに、テープがたまらないようにしてください。テープがテープ出口をふさいでしまうと、テープがつまったり、故障の原因になります。**

テープをカットする

1 テープカットボタンを押して、テープをカットします。

- テープを切るときは、本機をかたむけないでください。
- テープカットボタンを必要以上に強く押さないでください。

印刷がすべて終わったことを確かめてから、テープをカットしてください。印刷中にテープカットボタンを押すと、テープがつまったり、本機が壊れたりすることがあります。

反射テープについて

反射テープは特殊な処理をしてあるテープです。

カットするときは、下記の手順にしたがってハサミなどをお使いください。

なお、本機で反射テープをカットすると、カッター部分の寿命が短くなることがあります。ご注意ください。

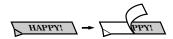
1 印刷する

2 (機能)を押し、指を離してから(テープ送り)を押して、テープ送りをする

3 反射テープを取り出し、ハサミなどを使ってカットする
※ご使用後は、必ず本機から取り出して保管してください。

ラベルを貼る

1 **必要に応じて、ハサミなどで好きな大きさ・かたちにします。**

2 **ラベルの裏を剥がして、貼ります。**
ラベルの角を折り曲げると、剥がしやすくなります。

- 一度貼ったラベルを剥がすと、貼っていた場所にテープのノリが残ることがあります。

次のようなものや場所にラベルを貼らないでください。
- 直射日光や雨があたるもの
- 人や動物のからだ
- 他人の家のへいや電柱など
- 公園・駅など、公共の場所
- 電子レンジで加熱に使う容器

ラベルが貼りにくいものは…
- 表面がざらざらしているところ
- 表面に水や油、ホコリなどがついているところ
- 特殊なプラスチック材料（シリコン系・PP材など）

テープを空送りする

印刷を途中で取り消したときなどに、途中まで印刷されたテープを白紙で送ることができます(テープ送り)。

1 **(機能)を押し、指を離してから(テープ送り)を押します。**
テープが約20mm送られます。

文字の入力について

ローマ字入力、またはかな入力を選ぶことができます。
ここでは、ローマ字入力を選びます。(71ページ)

■「パパ」を入力します。

(あア)を何回か押して、画面左上の「ア」の位置に[▲]を表示させます。

(P)(A)(P)(A)

■「冬物」を入力します。

(あア)を何回か押して、画面左上の「あ」の位置に[▲]を表示させます。

(F)(U)(Y)(U)(M)(O)(N)(O)

(変換)を何回か押して、「冬物」が画面に表示されたら(実行)を押します。

- 誤った文字を入力したときは、(文字削除)(87ページ)または(後退)(87ページ)を押して、文字を消してから、正しい文字を入力してください。
- **文字入力方法について、詳しくは「入力・編集編」(70ページ)をご覧ください。**

ラベル作成編

ラベル作成の流れ

ラベルに印刷するときは、以下の手順で行います。

乾電池のセット
または別売のACアダプターの接続

24ページ
104ページ

テープカートリッジの取り付け

30ページ

自由に入力して作る

フリーラベル

53ページ

フリーラベルの編集機能

54ページ

用途に応じて作る

定型フォーマット
名前シール

46、50ページ

操作の流れ

1 ラベルの種類を選ぶ

フリーラベル............. 53ページ
定型フォーマット 46ページ
名前シール 50ページ

登録してあるデータを呼び出して使うときは（68ページ）

前回作成したデータを使うときは（29ページ）

▼

2 文字を入力する（70ページ）

▼

3 文字を修飾する

書体（フォント）を変える（92ページ）、文字を目立たせる（装飾）（95ページ）

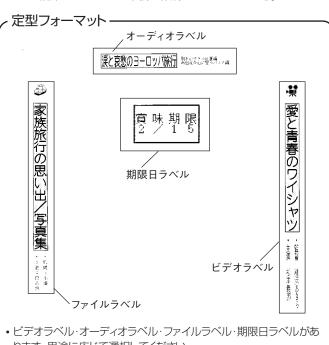
▼

ラベルを印刷（38ページ）・登録（67ページ）する

※定型フォーマット、名前シールは登録できません。

フォーマットを選んで作る(定型フォーマット)

本機には、豊富なラベルのフォーマットが内蔵されており、用途に応じたラベルが簡単に作れます。

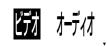
※ここで紹介するラベルは、本機で作成できるラベルの一例です。

• ビデオラベル・オーディオラベル・ファイルラベル・期限日ラベルがあります。用途に応じて選択してください。

[印刷例]

(9mm幅テープ/ビデオ/VHS/3)

重要 129ページをご覧になりフォーマットに適した幅のテープカートリッジをセットしてください。

フォーマットを選ぶ

1 **(ON/OFF)を押して、電源を入れます。**

2 **(定型フォーマット)を押します。**

3 **⋀⋁＜＞押して作成するラベルの種類を選び、(実行)を押します。**

ここでは「ビデオ」を選びます。

4 **⋀⋁＜＞を押して、「ビデオ」ラベルの種類を選び、(実行)を押します。**

ここでは「VHS」を選びます。

5 ∧∨＜＞を押してフォーマットを選びます。

詳しくは「定型フォーマット一覧」(129ページ)をご覧ください。
ここでは∨を1回押します。

6 [実行]を押します。
絵文字が表示されます。

7 画面の絵文字を必要に応じて変更し、[実行]を押します。

- 選んだフォーマットの種類や項目によって、絵文字が入力されていたり、入力されていなかったりします。
- ほかの絵文字に変えるときは、86ページをご覧ください。

8 文字を入力し、[実行]を押します。

ここでは4つの項目を入力します。

- フリーラベルと同様に、文字体(太字、白抜)を選択することができます。フォーマットによっては、枠付を選択することができます。

これでラベルデータが完成しました。

9 ◁▷を押して**印刷**を選び、(実行)を押すと、印刷が開始されます。

- 印刷をするときは、65ページの注意事項をご覧ください。
- 「期限日」のフォーマットで作成したラベルは、電子レンジやオーブンで使用する物には貼らないでください。ラベルに使用している材質に金属が含まれているため、電子レンジやオーブンで加熱すると発火や火傷の原因となります。ラベルを貼った物を電子レンジやオーブンで使用する場合は必ずラベルを剥がしてください。

印刷の方向などを設定したい

文字の入力中に、お好みで印刷の方向などを設定することができます。

- 印刷方向を縦書きに設定する
- 表裏が逆さまなラベルを印刷する

設定方法については、56、57ページをご覧ください。

名前シールを作る

小物用やノート用などの名前シールを作ることができます。

[印刷例]

（9mm幅テープ/ノート大/フレーム付き）

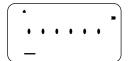
重要

132ページをご覧になりフォーマットに適した幅のテープカートリッジをセットしてください。3.5mm/6mmのテープカートリッジは使用できません。

フォーマットを選ぶ

1 ON/OFF を押して、電源を入れます。

2 名前シール を押します。

重要

- 「えんぴつ巻」のフォーマットで作成したシールは、そのままえんぴつに巻いてご使用ください。
- 「小物用」のフォーマットで作成したシールは、名前に沿ってハサミで切り離してご使用ください。「ノート大」「ノート小」「住所」のフォーマットで作成したシールは、ラベルの先頭の約15mmの余白をハサミでカットすると、左右の余白のバランスが良くなります。

3 ⌃⌄＜＞を押して作成するラベルの種類を選び、実行を押します。

ここでは「ノート大」を選びます。

4 ⌃⌄＜＞を押してフォーマットを選びます。

詳しくは「名前シールフォーマット一覧」（132ページ）をご覧ください。
ここでは⌄を1回押します。

5 実行を押します。

フレームの選択画面が表示されます。

6 ⌃⌄＜＞を押してフレームを選び、実行を押します。

- 選んだフォーマットの種類によっては、絵文字を入れることもできます。

7 文字を入力し、(実行)を押します。

・フリーラベルと同様に、文字体（太字、白抜）を選択することができます。フォーマットによっては、枠付を選択することができます。

これで名前シールデータが完成しました。

終了

8 ◁▷を押して**印刷**を選び、(実行)を押すと印刷が開始されます。

重要 印刷をするときは、65ページの注意事項をご覧ください。

印刷の方向などを設定したい

文字の入力中に、お好みで印刷の方向などを設定することができます。

・印刷方向を縦書きに設定する
・表裏が逆さまなラベルを印刷する

設定方法については、56、57ページをご覧ください。

自由に入力して作る（フリーラベル）

ここでは自由に入力してラベルを作る（フリーラベル）方法について説明します。

フリーラベルを作る

フリーラベルの作り方については、38ページを参照してください。

操作を簡単に説明しますと、以下のようになります。

1. ON/OFF を押して、電源を入れます。
2. 「[実行]で復帰」と表示された場合は、実行を押すと、メモリーに保存されていた内容が画面に表示されます（29ページ）。
3. 自由に文字を入力します。

2行以上のラベルを作る

2行以上の文章を含むラベルを作ることができます。
作れる行数は、セットしてあるテープの幅によって違います。

重要 3.5mm幅テープでは、2行以上のラベルは作れません。

テープの幅	最大行数
3.5mm	1行
6mm	2行
9mm	3行

テープの幅	最大行数
12mm	3行
18mm	3行

- テープの幅と行数に合わせて、自動的に文字の大きさは変わります。**（ジャストフィット印刷）**
- 文字の大きさを自由に決めた場合（60ページ）も、文字の大きさは行数に合わせて自動的に変わります。

[印刷例]

町内連絡網
最新版

（12mm幅テープ）

1 **1行目を入力します。**
ここでは「町内連絡網」と入力します。

2 **（↵）を押します。**

3 2行目を入力します。
ここでは「最新版」と入力します。

- 文字を全部入力した後に、行を変えることもできます。行を変えたい位置で、(↵)を押します。
- 改行を取り消すときは、(文字削除)を押してマークを削除します。
- セットされているテープ幅に合わない行数にすると、「行数オーバー」と表示され、印刷することはできません。そのときは行数を減らしてください。
- ラベルデータを印刷するときは→38ページ
- ラベルデータを登録するときは→67ページ

縦書きのラベルを作る

ラベルは、通常は、横書きで印刷されますが、縦書きで印刷することもできます。

重要 縦書きと横書きがまざったラベルを作ることはできません。

［印刷例］

1 **文字を入力した後、（機能）を押し、指を離してから（たて/うら 9）を押します。**

2 **△▽◁▷押して縦書きを選び、（実行）を押します。**
印刷すると、縦書きのラベルになります。

•「横書き」に戻すときは、手順**2**のときに、「横書き」を選びます。

裏表が逆さまなラベルを作る

透明ガラスの裏側に透明テープを貼るときや、別売の布転写テープを使ってハンカチやTシャツなどに転写するときは、裏表が逆さまなラベルを作ります。

ラベル全体が裏表逆さまな文字になります。

[印刷例]

1 **文字を入力した後、(機能)を押し、指を離してから(たて/うら 9)を押します。**

2 **△▽◁▷を押して、横裏を選び、(実行)を押します。**
印刷すると、裏表が逆さまなラベルになります。

・縦書きで、裏表が逆さまのラベルを作るときは、手順**2**で縦裏を選びます。

文章のバランスを整える(割付)

2行以上の文章のバランスを整えることができます。

重要
・1行の文章のときは、割付の設定は無効です。
・定型フォーマット、名前シールでは割付の設定はできません。

2行以上の文章のときは、次のように文字数の少ない方が割付の対象になります。

左寄せ	中寄せ	右寄せ	均等
下期 販促資料①	下期 販促資料①	下期 販促資料①	下　　　期 販促資料①

1 文字を入力します。

2 (機能)を押し、指を離してから(書式 8)を押します。

3 ⋀⋁を押して、「割付」の設定画面にします。

割付:左寄せ〉

4 ＜＞を押して、希望の割付の種類を表示させます。

＜＞を押すたびに、均等 中寄せ 右寄せ 左寄せ と割付の種類が変わります。

5 (実行)を押します。

印刷すると、割付されたラベルになります。

文字と文字の間隔を整える(文字間隔)

文字の間隔のバランスを整えることができます。

重要 定型フォーマット、名前シールでは文字間隔の設定はできません。

普通(文字間1mm)　江藤まこと

広い(文字間2mm)　江 藤 ま こ と

密着(文字間無し)　江藤まこと

1 **文字を入力します。**

2 **(機能)を押し、指を離してから(書式 8⁻)を押します。**

3 **△▽を押して、「もじ間」の設定画面にします。**

もじ間:密着〉

4 **◁▷を押して、希望の文字間隔の種類を表示させます。**
◁▷を押すたびに、広い 密着 普通 と文字間隔の種類が変わります。

5 **(実行)を押します。**
印刷すると、文字間隔が調整されたラベルになります。

文字の大きさを決める

ラベルを作ると、最適な文字サイズで印刷されます。これは、セットされているテープの幅と文章の行数に合わせて、最適な文字サイズを自動的に設定しているためです**（ジャストフィット印刷）**。
ここではジャストフィット印刷ではなく、自由に文字の大きさを決める方法を説明します。

文字単位で「1×1」～「4×4」倍まで自由に文字サイズを選択できます。
テープの幅によって、印刷できる文字サイズの最大値（縦方向）は異なります（テープ幅と行数・倍率一覧　134ページ）。

1×1

禁煙

2×3

禁煙

4×4

禁煙

- 縦書きと横書きとでは、印刷結果が異なる場合があります。たとえば、1×2と指定すると、横書きでは横長に、縦書きでは縦長に印刷されます（上の印刷例はすべて横書きで作成しています）。

1×2（横書き）

終日禁煙

1×2（縦書き）

終日禁煙

［例］　「禁煙」を1×3にする

1 **文字を入力します。**

2 **(機能)を押し、指を離してから(3@)(印字サイズ)を押します。**

ジャストフィット印刷のサイズが表示されます。

2 X 2

3 **「1～4」の数字を直接入力して、文字サイズを指定します。**

ここでは、[1][3]と押します。

- 文字サイズの指定は⋀⋁＜＞でも行うことができます。

4 **(実行)を押します。**

「どこから?」と表示された後、範囲の指定画面が表示されます。

禁煙・・・・

5 **＜＞を押して、指定する範囲の先頭にカーソルを移動します。**

ここでは＜を2回押します。

禁煙・・・・

6 (実行)を押します。

「どこまで?」と表示された後、範囲の終点を指定する画面が表示されます。

禁煙・・・・

7 ⧀⧁を押して、範囲の終点を指定します。

ここでは⧁を1回押します。

8 (実行)を押します。

微小フォントについて

●行数(入力した行数または選んだフォーマットの行数)と、テープ幅によって、「微小フォント」となります(134ページ)。

●微小フォントには、次のような特徴があります。

- フォントの設定は、無効です(すべて同じフォントで印刷されます)。
- 文字体または文字修飾を設定すると、きれいに印刷できないことがあります。
- 絵文字は、きれいに印刷できないことがあります。

フレームをつける

フリーラベルの文章にいろいろなフレームをつけることができます。
フレームの一覧は127、128ページをご覧ください。

重要 3.5mm幅テープにフレームをつけることはできません。

[印刷例]

(9mm幅テープ)

1 文字を入力します。

2 (機能)を押し、指を離してから(5 フレーム)を押します。

3 ⊲⊳を押して、フレームの分類を選び、(実行)を押します。
ここでは イラスト を選びます。

4 ⊼⊻⊲⊳を押して使うフレームを選び、(実行)を押します。

ここでは [フレーム] を選びます。

5 ⊲⊳を押して印刷を選び、(実行)を押します。
印刷が開始されます。

- 「文字修飾」の指定は無効になります。

ラベル作成編 フレームをつける

印刷するときは、65ページの注意事項をご覧ください。

■文字単位でフレームをつける

重要 3.5mm/6mm幅テープでは文字単位のフレームをつけることはできません。

[印刷例]

1 63ページの手順3で**文字**を選び、(実行)を押します。

2 ⊛⊗⊘⊙を押して使うフレームを選び、(実行)を押します。
ここでは[りんご]を選びます。

3 ⊘⊙を押して**印刷**を選び、(実行)を押します。
印刷が開始されます。

- 文字単位のフレームでは印刷できる行数は1行のみです。
- 「文字修飾」の指定は無効になります。
- 文字の大きさの設定は無効になり、常に1×1倍となります（18mm幅テープの場合は、常に2×2倍になります）。

フレーム印刷できる行数

テープ幅によって、フレーム印刷できる行数は異なります。
※文字単位のフレームでは印刷できる行数は1行のみです。

	18mm幅	12mm幅	9mm幅	6mm幅
フレーム印刷できる行数	3行以内	3行以内	2行以内	1行

印刷時の注意事項

印刷するときには以下の点に注意してください。

- 42ページ「ラベルを貼る」、43ページ「テープを空送りする」をご参照の上、操作してください。

重要

- 印刷中に、絶対に電源を切らないでください。
- 印刷中に、本体のカセットカバーを絶対に開けないでください。
- 印刷中に出てきたテープは、印刷が終了するまでさわらないでください。
- 印刷の途中でテープがなくならないように十分残量のあるテープカートリッジをご使用ください。印刷の途中でテープがなくなったときは、(取消し)を押して印刷を中止してください。
- テープ出口のまわりに、テープがたまらないようにしてください。テープがテープ出口をふさいでしまうと、テープがつまったり、故障の原因になります。

テープをカットする

1 テープカットボタンを押して、テープをカットします。

- テープを切るときは、本機をかたむけないでください。
- テープカットボタンを必要以上に強く押さないでください。

印刷がすべて終わったことを確かめてから、テープをカットしてください。印刷中にテープカットボタンを押すと、テープがつまったり、本機が壊れたりすることがあります。

反射テープについて

反射テープは特殊な処理をしてあるテープです。

カットするときは、下記の手順にしたがってハサミなどをお使いください。

なお、本機で反射テープをカットすると、カッター部分の寿命が短くなることがあります。ご注意ください。

1 印刷する

2 〔機能〕を押し、指を離してから〔テープ送り〕を押して、テープ送りをする

3 反射テープを取り出し、ハサミなどを使ってカットする

※ご使用後は、必ず本機から取り出して保管してください。

作成したデータを登録する・呼び出す

作成したデータをメモリーに記憶させておくことができます。記憶させることを**登録**といいます。
登録しておけば、いつでも呼び出して印刷したり、また内容を修正して違うデータを作ることができます。

データを登録する

1 **文字を入力した状態で、(機能)を押し、指を離してから(メモリー 1 !)を押します。**

2 **◁▷を押して登録を選び、(実行)を押します。**

登録しますか？

3 **(実行)を押します。**
「しばらお待ちください」と表示された後、「登録完了」と表示され、最初の画面に戻ります。

重要
- 登録データは1件のみです。上書きで登録されます。
すでに登録データがある場合には、新たに登録することで前の登録データは失われます。
- 定型フォーマット、名前シールは登録できません。

登録したデータを呼び出す

登録したデータは、「データを登録する」の**1**の画面から呼び出します。

1 ◁▷**を押して呼出を選び、**実行**を押します。**

2 実行**を押します。**

データが呼び出されます。
必要に応じて、修正・印刷してください。

入力・編集編

文字の入力や編集についての基本的な説明をします。また、フォント、文字修飾の指定についても説明しています。

カーソルのはたらきと動かしかた

画面上で点滅している＿を**カーソル**といいます。
カーソルとは、文字を入れる位置を示した目印のことです。

文字キーを押すと、カーソルの位置に文字が入ります。

ⓘ〈	左にカーソルが移動する	〉	右にカーソルが移動する
機能を押し、指を離してから《〈を押す	文章の先頭にカーソルが移動する	機能を押し、指を離してから》〉を押す	文章の最後にカーソルが移動する

スクロールとは
画面にかくれている文字を見るためには、〈〉を押して、かくれている部分にカーソルを動かします。これを**スクロール**といいます。
（〈〉を押した方向に文字がないときは、カーソルは動きません。）

ローマ字入力？それともかな入力？

キーを押して文字を画面にあらわすことを、**入力**といいます。
文字を入力する方法には、ローマ字入力とかな入力があります。

- ローマ字入力とは…
  アルファベットを使ったローマ字よみでひらがななどを入力する方法です。
- かな入力とは…
  文字キーを数回押して文字をめくっていき、入力する方法です。

購入後はじめて使うときや、メモリーの初期化をした後では、ローマ字入力の状態になっています。

ローマ字入力とかな入力を切り換える

（機能）を押し、指を離してから（あアAa ローマ字/かな）を押します。
「かな入力」のときは、画面左の「かな入力」に■がつきます。

かな入力を示します

- 「ローマ字入力」のときは、画面左の「かな入力」の■が消灯します。

「設定」で切り換えるには

1 （機能）を押し、指を離してから（0 設定）を押します。

2 （∧）（∨）を押して「入力」を選び、（実行）を押します。

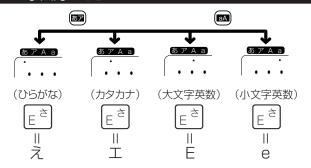
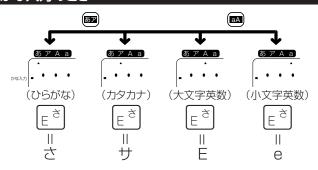
3 （∨）を押して「ローマ字」と「かな」の設定画面にします。

4 （＜）（＞）を押して「かな」または「ローマ字」を選び、（実行）を押します。

入力する文字の切り替え方法

文字キーは、1つで数種類の文字が入力できるようになっています。[あア]や[aA]を押して、ひらがな･カタカナ･アルファベット･記号が入力できるように、切り換えます。

ここでは[E さ]を例にとって、説明します。

ローマ字入力のとき

かな入力のとき

ひらがな・カタカナの入力

ここではローマ字入力で説明します。

ひらがなの入力

［例］　さくら

1 **［あア］を何回か押して、画面上の「あ」に▲をつけます。**

2 **［S］［A］［K］［U ま］［R た］［A］と押します。**

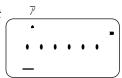
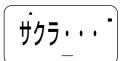
• かな入力のときは…
　［E さ］［W か］［W か］［W か］［O ら］

3 **［機能］［実行 無変換］を押します。**
「無変換」とは、漢字に変換しないでひらがなのまま確定するという意味です。

カタカナの入力

［例］ サクラ

1 あアを何回か押して、画面上の「ア」に▲をつけます。

2 S A K U A R A と押します。

• かな入力のときは…
E W W W O

カタカナを入力すると、そのまま確定されます。

ひらがなで文字を入力して、カタカナに変換する（カタカナ変換）

例 サクラ

①ひらがなで「さくら」と入力します。

②さくらとなっているときに、機能を押し、指を離してから単漢字（カタカナ変換）を押します。

さくらが「サクラ」に確定されます。

いろいろな文字の入力方法

	例	ローマ字入力	かな入力
促音	いった	［Iや］［Tな］［Tな］［A］	［Qあ］［Qあ］［Rた］［Rた］［Rた］［Rた］［Rた］［Rた］［＞］［Rた］
拗音	きょう	［K］［Yは］［Oら］［Uま］	［Wか］［Wか］［Iや］［Iや］［Iや］［Iや］［Iや］［Iや］［Qあ］［Qあ］［Qあ］
濁音	ぼく	［B］［Oら］［K］［Uま］	［Yは］［Yは］［Yは］［Yは］［Yは］［ー゛゜］［Wか］［Wか］［Wか］
半濁音	ぱぱ	［Pわ］［A］［Pわ］［A］	［Yは］［ー゛゜］［ー゛゜］［Yは］［ー゛゜］［ー゛゜］
句点	。	［.。］	［.。］
読点	、	［シフト］［,、］	［シフト］［,、］
長音	ー	［シフト］［8ー］または［ー゛゜］	［シフト］［8ー］
中黒	・	［シフト］［6・］	［シフト］［6・］
を		［Wか］［Oら］	［Pわ］［Pわ］
ん		［N］［N］	［Pわ］［Pわ］［Pわ］
空白		［空白］	［空白］
ヴ		「ァ」表示（カタカナ入力状態）のときに［V］［Uま］	「ァ」表示（カタカナ入力状態）のときに［Qあ］［Qあ］［Qあ］［ー゛゜］
ヵ		［X］［K］［A］または［K］［シフト］［A］	［Wか］［Wか］［Wか］［Wか］［Wか］［Wか］
ヶ		［X］［K］［Eさ］または［K］［シフト］［Eさ］	［Wか］［Wか］［Wか］［Wか］［Wか］［Wか］［Wか］

ローマ字よみの詳細については、「ローマ字入力一覧」（117ページ）を参照してください。
かな入力時の詳細については「めくり候補一覧」（121ページ）を参照してください。

＊ローマ字入力のときは［シフト］と組み合わせて文字キーを押すと小文字（拗音）になりますが、**やゆよあいう** など拗音にすることができる文字に限ります。（小文字の入力については120ページを参照してください。）

漢字の入力

漢字を入力するには、まずその漢字の「よみ」をひらがなで入力します（例：「花」→「はな」）。
ひらがなから漢字に変えることを**変換**といいます。使いたい漢字が表示されたら、(実行)を押して、ほかの文字に変わらないように**確定**します。

ひらがなから漢字に変換する方法は、次のとおりです。

- **文章を入力してから変換する**
- **同音異義語を変換する（例：公園、後援など）**
- **漢字1文字分ずつ変換する（当て字やむずかしい固有名詞などの変換）**

文章を入力してから変換する

文章を入力してから、まとめて漢字に変換します。
まとめて変換できる文字数は、32文字までです。

［例］　今日行きます

1 **「きょういきます」をひらがなで入力します。**

2 **(変換)を押します。**
「きょういき」と「ます」という2つの言葉と認識されたため、「境域」と変換されます。

「境域」に下線がついています

3 ⓘを2回押します。

「きょういき」を「きょう」という言葉に区切るためです。

今日いきます

「今日」に変換されます

4 [実行]を押します。

「今日」が確定されます。
「いき」と「ます」という2つの言葉が残ったと認識されたため、「いき」が「意気」に変換されます

5 ⓘを2回押します。

「いき・ます」を「いきます」という言葉にするためです。

今日意気ます

6 [変換]を何回か押して、「行きます」にします。

[変換]を押すたびに、「いきます」に当てはまる言葉が次々と表示されます。

今日行きます

7 「行きます」が表示されたら、[実行]を押します。

「行きます」が確定されます。

日行きます・

カーソルと下線の違い

カーソルは、文字が入る位置を示した目印で、点滅して画面に表示されます。ひらがなを漢字に変えるときにつく下線は、「現在、変換することができる部分」を示した印です。

- 下線がついているときに[取消し]を押すと、「よみ」の状態に戻ります。

例　きょう　→[変換]　今日　→[取消し]　きょう

「よみ」を入れて[変換]を押しても目的の漢字に変換できないときは、単漢字変換を試してみましょう。(79ページ)

同音異義語を変換する

複数の漢字が当てはまる「よみ」（同音異義語）を変換する方法を説明します。

［例］　公園

1 「こうえん」と入力し、[変換]を押します。
「こうえん」に合った漢字の候補が表示されます。

後援・・・・

2 [変換]を何回か押して、「公園」にします。
[変換]を押すたびに、「こうえん」に当てはまる言葉が次々と表示されます。

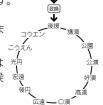
3 「公園」になったら、[実行]を押します。
「公園」が確定されます。

変換のルール

まず[変換]を押して、ひらがなを漢字に変換します。

↓

[変換]または[∨]を押すと、次の漢字が表示されます。

[機能]を押し、指を離してから[変換]を押す、または[∧]を押すと、1つ前の漢字が表示されます（前候補）。

漢字1文字ずつ変換する(単漢字変換)

当て字やむずかしい固有名詞などを変換するときは、1字ずつ目的の漢字に変換します。

［例］　敦廣(あつひろ)

1 「あつひろ」をひらがなで入力します。

あつひろ・・

2 (単漢字)を押します。

集暑熱圧厚篤

「あつ」に合った漢字がいくつか表示されます

3 ⊘⊘⊘⊘を押して、敦 にします。

宏惇淳敦渥会

4 (実行)を押します。
「敦」が確定されます。

敦ひろ・・・

5 (単漢字)を押します。

広博寛弘宏裕

6 △▽◁▷**を押して、廣にします。**

汎恢壺廣闊滉

7 [実行]**を押します。**

3のときにもう一度[単漢字]を押すと変換対象の範囲が「あつ」から「あ」となります。
（[単漢字]を押すごとに、変換対象の範囲が変化します。）

思いどおりの漢字に変換されないのはなぜ?

次のようなことが考えられます。

- 「週（しゅう）」を「しゆう」と入力している
- 「図（ず）」を「づ」と入力している
- 「通り（とおり）」を「とうり」と入力している
- 「社食（しゃしょく）」「道交法（どうこうほう）」など、略語の読みを入力している

次の文字の入力には、特に注意してください。

- 「ぁ」「ぃ」「ぅ」「ぇ」「ぉ」「ゃ」「ゅ」「ょ」の拗音
- 「っ」の促音
- 「ず」と「づ」
- 「じ」と「ぢ」
- 「お」と「う」

まとめ…
K
A
I や
反転している
かい
漢字の「よみ」を
入力
します
この状態を「入力中」
といいます
変換
甲斐
下線がつく
漢字に変えることを
変換
といいます
ほかの漢字に変えられ
る状態です（変換中）
変換
階
目的の漢字を
探す
ほかの漢字に変え
られる状態です
（変換中）
実行
階
目的の漢字ができたら…
確定
します
ここではじめて文字が入ります

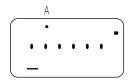
アルファベットや数字の入力

アルファベット、数字の入れかたを説明します。

アルファベット(大文字)の入力

[例]　A K I

1 **aAを何回か押して、画面上の「A」に▲をつけます。**

2 **A K Iと押します。**
アルファベットは、キーを押したと同時にその文字に確定されます。

・カンマ(,)　ピリオド(.)を入力するには

aAを何回か押して、画面上の「A」か「a」に▲をつけます。
この状態で次のキーを押します。

ピリオド：. 　　カンマ：シフトを押し、指を離してから.を押す

・大文字と小文字が混ざった文章を簡単に入力するには

「A」表示のとき　　シフトを押し、指を離してから文字キーを押すと、その文字だけ小文字になります。

例　TAKESHI's

「a」表示のとき　　シフトを押し、指を離してから文字キーを押すと、その文字だけ大文字になります。

例　English

アルファベット(小文字)の入力

[例]　a k i

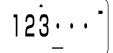
1 aAを何回か押して、画面上の「a」に▲をつけます。

2 A K Iと押します。

アルファベットは、キーを押したと同時にその文字に確定されます。

数字の入力

[例]　1 2 3

1 1 2 3と押します。

記号の入力

ふつうの文字のほかに、いろいろな記号を入れることができます。

キーに印刷されている記号

キーの右上に印刷されている記号

1 **シフトを押し、指を離してからキーを押します。**

キーの右上に印刷されている記号が入ります。

その他の記号

…《》☞ 4 ♥ ㌔ ♪ など

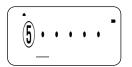
記号は「点など」「かっこ」「矢印」「数字」「丸など」「単位」「その他」の7つのグループに分かれています。123ページの記号一覧を見ながら、使いたい記号がどのグループに入っているのかを確かめてください。

[例] ⑤（グループ名……数字）

1 （機能）を押し、指を離してから（記号 7~）を押します。

記号のグループ名

2 ⋀⋁＜＞を押して**数字**にし、（実行）を押します。

3 ⋀⋁＜＞を押して**⑤**にし、（実行）を押します。

絵文字の入力

内蔵の絵文字を使うことができます。絵文字は12のグループに分かれています。
124～126ページの絵文字一覧を見ながら、使いたい絵文字がどのグループに入っているのかを確かめてください。
また、文字体の指定は無効です。

［例］ （グループ名……食べ物）

1 (機能)を押し、指を離してから(6)を押します。

絵文字のグループ名

2 ⋀⋁＜＞を押して食べ物にし、(実行)を押します。

3 ⋀⋁＜＞を押して「 」にし、(実行)を押します。

文字を修正・削除するときは

文字を間違えて入力したときの直しかたと、入力してあるすべての文字を削除する方法を説明します。

間違った文字を消す

■文字を1文字ずつ消す（カーソルの上の文字を消す）

［例］　「たたろう」の「た」を消して「たろう」に直す

1 **⊲⊳を何回か押して、「た」にカーソルを合わせます。**

たたろう・・

2 **文字削除を押します。**
「たろう」になります。

■文字を1文字ずつ消す（カーソルの前の文字を消す）

［例］　「たろうう」の最後の「う」を消して、「たろう」に直す

1 **消したい文字の次の文字にカーソルを合わせます。**

たろうう・・

2 **後退を押します。**
「たろう」になります

たろう・・・

確定前に文字を消すには…

たたろうなど、文字に■が重なっているとき（確定前）に文字を消すときも、(文字削除)を押して消します。
また、(取消し)を押すと、■が重なっている文字がぜんぶ消えます。

確定➜81ページ

すべての文字を消す（文削除）

入力中の項目の文章をすべて消します。

1 **(機 能)を押し、指を離してから(文字削除)と押します。**

削除しますか?

2 **(実 行)を押します。**

- 画面にあった文字はすべて消えます

間違った文字を直す

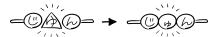
間違った文字を直す方法は、文字の入力方法が「挿入」状態になっているか、「上書き」状態になっているかで違ってきます。

挿　入

文字と文字の間に新しい文字を追加して入力することができます。

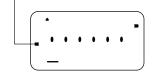
間違った文字を消してから正しい文字を入力します（その逆でも可）。

上書き

画面に表示されている文字を新しい文字に入れ替えることができます。

間違った文字の上に正しい文字を入力します。

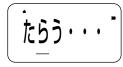
■「上書き」にするとき

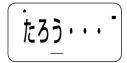
(シフト)を押し、指を離してから(あア)を押します。
「上書き」のときは、画面左の「上書き」に■がつきます。

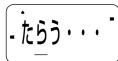
<上書き>
点灯します

もう一度(シフト)を押し、指を離してから(あア)を押すと、「挿入」状態に戻ります。

■間違った文字を消して正しい文字を入力する(「挿入」状態)

[例]　「たらう」を「たろう」に直す

1 (<)(>)**を押して「ら」にカーソルを合わせます。**

2 (文字削除)**を押します。**
「ら」が削除され、「う」が「ら」の位置に移動します。

3 **「ろ」を入力し、機能を押し、指を離してから実行(無変換)を押します(確定します)。**

■間違った文字の上に正しい文字を入力する(「上書き」状態)

1 **⊲⊳を押して「ら」にカーソルを合わせます。**

2 **「ろ」を入力します。**

「ら」が「ろ」になります

「設定」で切り換えるには

1　機能を押し、指を離してから0(設定)を押します。

2　△▽を押して「入力」を選び、実行を押します。

3　⊲⊳を押して「上書き」または「挿入」を選び、実行を押します。

文字を入れるときは

「上書き」のときは、入力済みの文字が消されて新たな文字に入れ替わります。間違って必要な文字を入れ替えることのないように、文字を入力するときは「挿入」にすることをおすすめします。

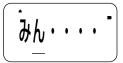
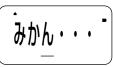
文字が抜けていたら…

「挿入」状態のときには、文字を追加することができます。

[例]「みん」を「みかん」にする

1 **◁▷を押して、「ん」にカーソルを合わせます。**

「ん」の前に文字を入れるためです。

2 **「か」を入力し、(機能)を押し、指を離してから(実行 無変換)を押します（確定します）。**

「ん」の前に「か」が入ります

確定前に文字を直したり追加するには…

たらうなど、文字に　　　が重なっているとき（確定前）に文字を直したり追加するときも上と同じ操作で直します。

確定➔81ページ

「上書き」で文字を直すときは

直す文字数に注意してください。直す文字数よりも多く入力してしまうと、必要な文字まで新しい文字に入れ替わってしまいます。

書体(フォント)を変える

入力済みの文字の形(書体)を、和文2書体、かな･英数4書体の中から選ぶことができます。
また電源を入れたときの書体を決める設定方法についても説明しています。

■和文書体

丸ゴシック体	明朝体
亜あ	亜あ

■かな･英数書体

丸ゴシック体	明朝体
あアA1	あアA1
メロディ	**プロデュース**
あアA1	あアA1

- メモリーリセット後は、「和文:丸ゴシック体」「かな･英数:和文同(丸ゴシック体)」に設定されています。

入力済みの文字の書体を変える

定価¥39,800

［例］（「定価」を丸ゴシック体に、「¥39,800」をメロディにする）

1 文字を入力します。

2 機能を押し、指を離してから2?（フォント）を押します。

和文:丸ゴシック

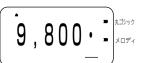
3 ◁▷を押して丸ゴシックを選び、実行を押します。

（和文の書体の種類を選びます。）

かな英:和文同

4 ◁▷を押してメロディを選び、実行を押します。

（かな・英数の書体の種類を選びます。）
※和文同を選ぶと、和文と同じ書体の設定になります。

設定後、文字入力の画面に戻ります。

電源を入れたときの書体を決める(初期フォント)

1 機能を押し、指を離してから(設定)0を押します。

2 ∧∨<>を押してフォントにし、実行を押します。

3 <>を押して和文フォントを選び、実行を押します。

4 <>を押してかな・英数フォントを選び、実行を押します。

5 ON/OFFを押して一度電源を切り、再びON/OFFを押して電源を入れます。

6 文字入力の画面を表示させます。

文字を入力すると、指定したフォントで入ります。

●メモリーに登録されているデータや、「[実行]で復帰」で呼び出したデータを使う場合は、現在の書体ではなくそのデータの作成時の書体が優先されます。

文字を目立たせる

文字を「太字」「白抜」にして目立たせることができます（文字体）。

- 絵文字は、文字体の指定はできません。

標準

住所録

太字

住所録

白抜

住所録

1 **文字を入力します。**

2 **(機能)を押し、指を離してから(装飾 4〒)を押します。**

3 **(<)(>)を押して文字体を選び、(実行)を押します。**

A標準 A太字

4 **(∧)(∨)(<)(>)を押して文字体の種類を選び、(実行)を押します。**

- A標準を選ぶと、指定済みの文字体を通常の文字に戻すことができます。
- 設定後、文字入力の画面に戻ります。

画面左上の「**A**太字」・「𝔸白抜」に▲がつきます。
(何もついていないときは、「A標準」を示します。)

文字に飾りをつける

フリーラベルでは、文字に網を重ねたり、下線をつけたり、枠をつけたりすることができます。
また、定型フォーマットでは、フォーマットにより枠をつけることができます。

網　掛	下　線	枠付
修飾	修飾	修飾

文字修飾を指定する

1 **文字を入力します。**

2 **(機能)を押し、指を離してから(4 〒 装飾)を押します。**

3 **◁▷を押して もじ修飾 を選び、(実行)を押します。**

4 **△▽◁▷を押して文字修飾の種類を選び、(実行)を押します。**

- 定型フォーマット、名前シールでは、フォーマットによって「枠付」に固定されているものと「枠付」を選べるものがあります。「網掛」はフォーマットによっては固定されています。「下線」を選ぶことはできません。
- 設定後、文字入力の画面に戻ります。

こんな文字修飾もできます

網掛、下線、枠付の飾りを重ねてつけることもできます。
文字修飾を重ねてつける場合は、97ページの手順2～4の操作を繰り返して設定してください。

特売
網掛＋枠付

特売
網掛＋下線

- 文字の大きさによっては、以下の現象が起きることがあります。
  - 枠と文字が重なって印刷される。
  - 下線と文字が重なって印刷される。
  - 枠と下線が重なって印刷される。

設定編

文字の入力方法や画面の明るさなど、本機を操作するための設定方法について説明します。

設定を変える

文字の入力方法や画面の明るさなどの設定を使いやすいように変更することができます。

設定できる項目

(機能)を押し、指を離してから(設定 0)を押すと、右の画面が表示されます。

⋀⋁＜＞で設定したい項目を選んで画面を切り替え、設定を変更します。

- 設定に入るときの画面によっては、一部の項目が表示されないことがあります。

設定項目		内容	ページ
入力	挿入/上書き	入力モードを切り替える	90
	ローマ字入力/かな入力	入力方法を決める	71
輝度		画面の濃淡を調整する	101
濃度		印刷の濃さを調整する	102
フォント(初期フォント)		入力文字の最初の書体を決める	94
デモ印刷		ラベルの印刷例を印刷する	102

画面の明るさを変えたい

画面の表示が見えにくいときは、画面の明るさ(コントラスト)を調整することができます。

1 **(機能)を押し、指を離してから(設定 0)を押します。**

2 **⋀⋁＜＞を押して「輝度」を選び(実行)を押します。**

3 **＜＞を押して明るさを調整し、(実行)を押します。**

＜を押すごとに薄く、＞を押すごとに濃くなります。

印刷の濃さを変えたい

印刷された文字が薄かったり、濃かったりしたときは、お好きな濃さに変えることができます。

1 **（機能）を押し、指を離してから（設定 0）を押します。**

2 **△▽◁▷を押して「濃度」を選び（実行）を押します。**

3 **◁▷を押して濃さを設定し、（実行）を押します。**

1 2 3 4 5

1 にすると1番薄く印刷され、5 にすると1番濃く印刷されます。

- 印刷の濃さの設定を変更しても、使用環境や使用状況が変わらない場合は、実際に印刷される濃度が変わらないことがあります。

サンプルデータを印刷する（デモ印刷）

内蔵のサンプルデータを印刷して、本機でどんなラベルが作れるかを見ることができます。

重要 デモ印刷を行うと、前回作成したデータは消えてしまいます。大切なデータの場合には、登録してから印刷をしてください。
また、ノートなどに控えをとっておいてください。
（データの登録→67ページ）

1 **テープカートリッジがセットされていることを確認します。**

- テープカートリッジについて→30ページ

2 **電源が入っているときは ON/OFF ◯ を押して電源を切ります。**

3 **ON/OFF ◯ を押して電源を入れます。**

「[実行]で復帰」と表示された場合は、(取消し)を押します。

4 **(機能)を押し、指を離してから (設定 0) を押します。**

5 **ⓐⓥⓒⓓを押して「デモ印刷」を選び、(実行)を押します。**

6 **(実行)を押します。**

- 印刷が始まります。
- セットしているテープカートリッジの幅によって、印刷される内容は異なります。

7 **印刷が終了したら◁▷を押して 終了 を選び、(実行)を2回押します。**

付　録

電源について

本機を使うときは、電源として同梱のアルカリ乾電池のほかに、別売のACアダプターを使うことができます。

別売のACアダプターで使う

別売のACアダプター（AD-A95100L）を使用すると、乾電池をセットしなくても本機を使うことができます。
※ACアダプターは「AD-A95100IJ」も使用することができます。

■取り付ける

- 別売のACアダプター以外は使用しないでください。
- 「電池からACアダプターに切り替えるとき」「ACアダプターから電池に切り替えるとき」は、必ず、一度電源を切ってからACアダプターの接続や電池のセットをしてください。電源を入れた状態で行うと、電源が切れて作成中の文章が消去される場合があります。

1 **ACアダプターのプラグを、本機のACアダプター接続用端子に差し込みます。**

2 **ACアダプターをご家庭のコンセント<AC100V>に差し込みます。**

■取り外す

- 印刷中にACアダプターを取り外さないでください。故障の原因となります。
- 「電源が入っている状態」や、電源を切った後も、表示画面が完全に消えるまでは、ACアダプターや乾電池(27ページ)を取り外さないでください。一時的に保存された作成中の文章や本機に登録した文章、設定された内容が消去されてしまいます。

1 ON/OFF ◯ を押して電源を切ります。

2 コンセントからACアダプターのプラグを抜きます。

3 本機のACアダプター接続用端子からACアダプターのプラグを抜きます。

電源コードの両端部分は、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。また、電源コードの両端部分が折り曲げられた状態で保管しないでください。コードが断線して故障の原因となります。

電源について

付録

⚠ 警告

ACアダプターについて

ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。次のことは必ずお守りください。

- 必ず本機専用の別売品を使用する
- 電源は、AC100V(50/60Hz)のコンセントを使用する
- 1つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐ、いわゆるタコ足配線をしない

ACアダプターについて

電源コードは使いかたを誤ると、傷がついたり破損して、火災・感電の原因となります。

次のことは必ずお守りください。

- 重いものを乗せたり、加熱しない
- 加工したり、無理に曲げない
- ねじったり、引っ張ったりしない
- 電源コードやプラグが傷んだらお買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口に連絡する

ACアダプターについて

- 濡れた手で電源コードやプラグに触れないでください。感電の原因となります。
- ACアダプターは水のかからない状態で使用してください。水がかかると火災や感電の原因となります。
- ACアダプターの上に花瓶など液体の入ったものを置かないでください。水がかかると火災や感電の原因となります。

⚠ 注意

ACアダプターについて

ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- ストーブ等の熱器具に近づけない
- プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない（必ずACアダプター本体を持って抜く）
- ACアダプターのプラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
- 旅行などで長期間使用しないときはACアダプターのプラグをコンセントから抜く
- ご使用後は電源スイッチを切り、ACアダプターのプラグをコンセントから抜く
- ACアダプターの刃と刃の周辺部分にほこりがたまらないように、コンセントから抜いて、年 1 回以上清掃する。

お手入れの方法

プリンターヘッドやゴムローラーがよごれていると、ラベルにきれいに印刷されません。次の手順にしたがって、プリンターヘッドやゴムローラーをきれいにしてください。

綿棒できれいにする

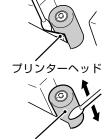
- プリンターヘッドやゴムローラーのお手入れは、綿棒などのやわらかいもので行ってください。また、綿棒は極細タイプをお使いになることをおすすめします。

1 **テープカートリッジ収納部カバーを開けます。**

- テープカートリッジが装着されているときは、テープカートリッジを取り出します。

2 **アルコールを浸した綿棒でプリンターヘッド、ゴムローラーの表面をふきます。**

ローラーとヘッドが接触する部分を重点的にふいてください。

- ゴムローラーは、(機能)を押し、指を離してから(テープ送り)を押すと回転します。
- 市販のカセットテープレコーダー用のヘッドクリーニングキットもご使用になれます。

クリーニングテープを使う

別売のクリーニングテープ(XR-18CLE)を使うこともできます。

1 **テープカートリッジ収納部カバーを開けます。**

- テープカートリッジが装着されているときは、テープカートリッジを取り出します。

2 **クリーニングテープを本機に装着します。**

3 **ON/OFF ◯ を押して電源を入れます。**

4 **(機能)を押し、指を離してから テープ送り を押して、「テープ送り」を1～2回行います。**

詳しくはクリーニングテープに付属の取扱説明書をご参照ください。

本体もお手入れしましょう

やわらかい布を水に浸してから固くしぼって、本体を拭いてください。本体を傷つけるので、ベンジン、アルコールやシンナーなどの揮発性のものは使わないでください。

こんなときは（トラブルシューティング）

本機がうまく動かないときには、次の対処方法にしたがってトラブルを解決してください。次の対処方法で解決できないトラブルは、故障している可能性もありますので、お買い上げ店、もよりの本機取扱店、もしくはカシオテクノ修理相談窓口にご相談ください。

症状	考えられる原因	ご確認ください
● ON/OFF を押しても何も表示されない	画面の明るさが適切でない	画面の明るさの設定を調整してください。（101ページ）
	乾電池が消耗している、または指定以外の乾電池を使用している	新しい単3形アルカリ乾電池（別売）と交換してください。
	乾電池が正しくセットされていない	正しくセットし直してください。（24ページ）
	ACアダプターがきちんと接続されていない	別売のACアダプターを正しく接続してください。（104ページ）
● 正しく終了するが何も印刷されない	「空白」だけが入力されている	印刷したい文章を入力してください。
	テープが終了している	新しいテープカートリッジと交換してください。
● 印刷が不鮮明になった ● 印刷がきれいにできない ● 印刷が薄い	プリンターヘッドやゴムローラーが汚れている	クリーニングを行ってください。（109ページ）
	乾電池が消耗している	新しい単3形アルカリ乾電池（別売）と交換してください。（26ページ）
	テープカートリッジが正しくセットされていない	正しくセットし直してください。
	印刷濃度の設定が薄い	印刷濃度を濃く設定してください。（102ページ）

症状	考えられる原因	ご確認ください
●印刷されない	乾電池が消耗している、または指定以外の乾電池を使用している	新しい単3形アルカリ乾電池（別売）と交換してください。（26ページ）
●印刷中に電源が切れる	乾電池が消耗している。または指定以外の乾電池を使用している	新しい単3形アルカリ乾電池（別売）と交換してください。（26ページ）
●文字が入力できない	（機能）を押した状態になっている	（取消し）を押して、文字が入力できる画面にします。
●目的の漢字に正しく変換されない	正しい「読み」が入力されていない	正しい「読み」を入力してください。特に、拗音（「しょう」の「ょ」など）や促音（「がっき」の「っ」など）の入力には注意しましょう。
	入力できる文字の種類が自分の思っている種類と違っている	（あア）または（aA）を押して変更してください。（72ページ）
●（印刷）などの機能キーを押しても画面が変わらない	ひらがなに■が重なっている 例　あか 漢字に下線がついている 例　赤	ひらがなや漢字は必ず確定してください。■が重なっていたり下線がついていたりすると（確定前）、他の機能が使えません。
●（印刷）を押してもテープが出てこない	本機のカセットカバーがしっかりと閉まっていない	カバーをしっかり閉めてください。（24ページ）
	テープが終了している	新しいテープカートリッジ（別売）に交換してください。（33ページ）

症状	考えられる原因	ご確認ください
● (印刷) を押してもテープが出てこない	テープがつまっている	テープカートリッジを取り出して、つまったテープを指で引き出します。引き出したテープはハサミなどでカットしてください。そのあと、正しくセットし直します。(31ページ) 重要 印刷中に、次のようなことはしないでください。 • テープ出口をふさぐ • 出てくるテープにさわる • 本機のカセットカバーを開ける • 電源を切る
	乾電池が消耗している	新しい単3形アルカリ乾電池(別売)と交換してください。(26ページ)
●インクリボンがテープといっしょにテープ出口からでてきた	インクリボンがたるんでいるままで、テープカートリッジをセットした	テープカートリッジを取り出します。インクリボンが切れていないことを確かめてから、テープを巻きとってください。そのあと正しくセットし直してください。(31ページ) 重要 • テープカートリッジをセットするときは、必ずインクリボンのたるみをとってください。 • インクリボンが切れているときは、新しいテープカートリッジ(別売)に交換してください。

症状	考えられる原因	ご確認ください
●テープが切れない	テープカッターが摩耗している	カシオテクノ修理相談窓口に連絡して交換してください。（145ページ）
	テープ出口にテープがつまっている	電源を切って、テープカートリッジを取り出し、つまったテープを取り除いてください。
●ラベルが貼れない	裏紙をはがしていない	裏紙をはがしてから貼ってください。（42ページ）
	貼る場所やものが適していない	表面がザラザラしているもの、水や油がついているもの、汚れているものなどには貼れません。（42ページ）

エラーメッセージ一覧

メッセージ	原因と対処	参照ページ
ﾃﾞｰﾀ異常	・メモリー初期化をしないで、文章を印刷しようとした場合。 ➡ メモリー初期化の操作をしてください。 ・電池消耗などにより、一時保存文章が消えたり、変化している状態で電源を入れた場合。 ➡ メモリー初期化の操作をしてください。	28
文字が未入力	・文字を入力していない状態で、フリーラベル、定型フォーマット、名前シールを使って印刷しようとした場合。 ➡ 文字を入力してから、印刷操作をしてください。	—
文字数ｵｰﾊﾞｰ	・「フリーラベルで文字を63文字以上入力しようとした場合」、「未確定文字を32文字以上入力しようとした場合」、または「定型フォーマット、名前シールで決められた文字数以上入力しようとした場合」。 ➡ 文章の文字数を減らしてください。	—
電池残り少	・電池が消耗した場合。 ➡ できるだけ早く新しい単3形アルカリ乾電池に交換することをおすすめします。 ・10℃未満の低温下で使用した場合。 ➡ 使用温度範囲（10℃～35℃）でご使用ください。	26
候補なし	・単漢字変換で、候補の漢字がない場合。 ➡ 取消しを押して別の読みで変換操作をしてください。	79

メッセージ	原因と対処	参照ページ
行数オーバー	• 3.5mmテープで2行以上、6mmテープで3行以上、9/12/18mmテープで4行以上の文章を作成し、印刷または印刷プレビューをしようとした場合。 • 9mmテープで3行のラベルを作り、フレーム印刷(イラスト、飾り)をしようとした場合。 • 2行以上の文章を作成し、文字単位のフレーム印刷をしようとした場合。 ➡ 行数を減らしてください。 • 6mmテープで2行のラベルを作り、フレーム印刷(イラスト、飾り)をしようとした場合。 ➡ フレームはつけられません。テープカートリッジを9mm以上の幅のものに変えてください。	54 64
テープが不適当です	• 3.5/6/9/12/18mm以外のテープカートリッジがセットされている場合。 ➡ 電源をOFFして本機で3.5/6/9/12/18mmのテープカートリッジをセットしてください。	30
テープセットしてください	• テープカートリッジがセットされていない場合。 ➡ 電源をOFFしてテープカートリッジをセットしてください。	30
6mm以下をセット	• 定型フォーマットのMD背、CD-R背のフォーマットに入るときや印刷しようとしたときに9mm以上のテープカートリッジがセットされている、またはテープカートリッジがセットされていない場合。 ➡ 電源をOFFして6mm以下のテープカートリッジをセットしてください。	130 131
6mm以上をセット	• フレーム印刷で3.5mmのテープカートリッジがセットされている、またはテープカートリッジがセットされていない場合。 ➡ 電源をOFFして6mm以上のテープカートリッジをセットしてください。	63

メッセージ	原因と対処	参照ページ
9mm以上をセット	• 定型フォーマットのMD背、CD-R背以外のフォーマットまたは名前シールに入るときや印刷しようとしたときに6mm以下のテープカートリッジがセットされている、またはテープカートリッジがセットされていない場合。 ➡ 電源をOFFして9mm以上のテープカートリッジをセットしてください。	129
12mm以上をセット	• 名前シールの「住所」のフレーム付き3行のフォーマットで、9mm以下のテープカートリッジがセットされている、またはテープカートリッジがセットされていない場合。 ➡ 電源をOFFして本機で12mm以上のテープカートリッジをセットしてください。	133
18mmをセット	• 名前シールの「えんぴつ巻き」で、3.5/6/9/12mmのテープカートリッジがセットされている、またはテープカートリッジがセットされていない場合。 ➡ 電源をOFFして18mmのテープカートリッジをセットしてください。	132
プリントエラー	• 印刷中に、テープがつまってしまった場合。 ➡ 電源を切って、テープカートリッジを取り出し、つまったテープを取り除いてください。 ※ 上記の対処を行っても、メッセージが表示される場合は、お買いあげの販売店または取扱説明書などに記載のカシオテクノ修理相談窓口にお問い合わせください。	30 145
テキスト削除？	• 定型フォーマット、名前シールを行おうとしたときにすでに文字が入力されていた場合。 ➡ 文字を削除して定型フォーマット、名前シールを行う場合は、(実行)を押してください。 ➡ 文字を削除したくない場合は、(取消し)を押してください。	—
データ未登録	• メモリーの呼出しで、登録されているデータが存在しなかった場合。 ➡ メモリーの登録をしてから、呼出しをしてください。	67

ローマ字入力一覧

ローマ字入力するときの、つづりかたの一覧表です。

あ 行	あ	ア	い	イ	う	ウ	え	エ	お	オ
	A		I		U		E		O	
か 行	か	カ	き	キ	く	ク	け	ケ	こ	コ
	KA CA		KI		KU CU QU		KE		KO CO	
が 行	が	ガ	ぎ	ギ	ぐ	グ	げ	ゲ	ご	ゴ
	GA		GI		GU		GE		GO	
さ 行	さ	サ	し	シ	す	ス	せ	セ	そ	ソ
	SA		SI SHI		SU		SE		SO	
ざ 行	ざ	ザ	じ	ジ	ず	ズ	ぜ	ゼ	ぞ	ゾ
	ZA		ZI JI		ZU		ZE		ZO	
た 行	た	タ	ち	チ	つ	ツ	て	テ	と	ト
	TA		TI CHI		TU TSU		TE		TO	
だ 行	だ	ダ	ぢ	ヂ	づ	ヅ	で	デ	ど	ド
	DA		DI		DU		DE		DO	
な 行	な	ナ	に	ニ	ぬ	ヌ	ね	ネ	の	ノ
	NA		NI		NU		NE		NO	
は 行	は	ハ	ひ	ヒ	ふ	フ	へ	ヘ	ほ	ホ
	HA		HI		HU FU		HE		HO	
ば 行	ば	バ	び	ビ	ぶ	ブ	べ	ベ	ぼ	ボ
	BA		BI		BU		BE		BO	
ぱ 行	ぱ	パ	ぴ	ピ	ぷ	プ	ぺ	ペ	ぽ	ポ
	PA		PI		PU		PE		PO	

ま 行	ま	マ	み	ミ	む	ム	め	メ	も	モ
	MA		MI		MU		ME		MO	
や 行	や	ヤ			ゆ	ユ	いぇ	イェ	よ	ヨ
	YA				YU		YE		YO	
ら 行	ら	ラ	り	リ	る	ル	れ	レ	ろ	ロ
	RA LA		RI LI		RU LU		RE LE		RO LO	
わ 行	わ	ワ	ゐ	ヰ	う	ウ	ゑ	ヱ	を	ヲ
	WA		WI		WU		WE		WO	
ん 行	ん	ン								
	NN，N＋子音 MP＋母音 MB＋母音									

きゃ行	きゃ	キャ	きぃ	キィ	きゅ	キュ	きぇ	キェ	きょ	キョ
	KYA		KYI		KYU		KYE		KYO	
ぎゃ行	ぎゃ	ギャ	ぎぃ	ギィ	ぎゅ	ギュ	ぎぇ	ギェ	ぎょ	ギョ
	GYA		GYI		GYU		GYE		GYO	
くぁ行	くぁ	クァ	くぃ	クィ			くぇ	クェ	くぉ	クォ
	QA		QI				QE		QO	
くゎ行	くゎ	クヮ	くぃ	クィ	くぅ	クゥ	くぇ	クェ	くぉ	クォ
	KWA QWA		KWI		KWU		KWE		KWO	
ぐゎ行	ぐゎ	グヮ	ぐぃ	グィ	ぐぅ	グゥ	ぐぇ	グェ	ぐぉ	グォ
	GWA		GWI		GWU		GWE		GWO	
しゃ行	しゃ	シャ			しゅ	シュ	しぇ	シェ	しょ	ショ
	SYA SHA				SYU SHU		SYE SHE		SYO SHO	
じゃ行	じゃ	ジャ	じぃ	ジィ	じゅ	ジュ	じぇ	ジェ	じょ	ジョ
	ZYA JA JYA		ZYI JYI		ZYU JU JYU		ZYE JE JYE		ZYO JO JYO	
ちゃ行	ちゃ	チャ	ちぃ	チィ	ちゅ	チュ	ちぇ	チェ	ちょ	チョ
	TYA CYA CHA		TYI CYI		TYU CYU CHU		TYE CYE CHE		TYO CYO CHO	

ぢゃ行	ぢゃ	ヂャ	ぢぃ	ヂィ	ぢゅ	ヂュ	ぢぇ	ヂェ	ぢょ	ヂョ
	DYA		DYI		DYU		DYE		DYO	
つぁ行	つぁ	ツァ	つぃ	ツィ			つぇ	ツェ	つぉ	ツォ
	TSA		TSI				TSE		TSO	
てゃ行	てゃ	テャ	てぃ	ティ	てゅ	テュ	てぇ	テェ	てょ	テョ
	THA		THI		THU		THE		THO	
でゃ行	でゃ	デャ	でぃ	ディ	でゅ	デュ	でぇ	デェ	でょ	デョ
	DHA		DHI		DHU		DHE		DHO	
とぅ					とぅ	トゥ				
					TWU					
どぅ					どぅ	ドゥ				
					DWU					
にゃ行	にゃ	ニャ	にぃ	ニィ	にゅ	ニュ	にぇ	ニェ	にょ	ニョ
	NYA		NYI		NYU		NYE		NYO	
ひゃ行	ひゃ	ヒャ	ひぃ	ヒィ	ひゅ	ヒュ	ひぇ	ヒェ	ひょ	ヒョ
	HYA		HYI		HYU		HYE		HYO	
びゃ行	びゃ	ビャ	びぃ	ビィ	びゅ	ビュ	びぇ	ビェ	びょ	ビョ
	BYA		BYI		BYU		BYE		BYO	
ぴゃ行	ぴゃ	ピャ	ぴぃ	ピィ	ぴゅ	ピュ	ぴぇ	ピェ	ぴょ	ピョ
	PYA		PYI		PYU		PYE		PYO	
ふぁ行	ふぁ	ファ	ふぃ	フィ			ふぇ	フェ	ふぉ	フォ
	FA		FI				FE		FO	
ふゃ行	ふゃ	フャ	ふぃ	フィ	ふゅ	フュ	ふぇ	フェ	ふょ	フョ
	FYA		FYI		FYU		FYE		FYO	
ぶゃ行	ぶゃ	ブャ	ぶぃ	ブィ	ぶゅ	ブュ	ぶぇ	ブェ	ぶょ	ブョ
	VYA		VYI		VYU		VYE		VYO	
みゃ行	みゃ	ミャ	みぃ	ミィ	みゅ	ミュ	みぇ	ミェ	みょ	ミョ
	MYA		MYI		MYU		MYE		MYO	
りゃ行	りゃ	リャ	りぃ	リィ	りゅ	リュ	りぇ	リェ	りょ	リョ
	RYA LYA		RYI LYI		RYU LYU		RYE LYE		RYO LYO	
ヴァ行	ぶぁ	ヴァ	ぶぃ	ヴィ	ぶ	ヴ	ぶぇ	ヴェ	ぶぉ	ヴォ
ぶぁ行	VA		VI		VU		VE		VO	

小文字（拗音・促音）

あ	ア	い	イ	う	ウ	え	エ	お	オ	つ	ツ
XA シフト＋A		XI シフト＋I		XU シフト＋U		XE シフト＋E		XO シフト＋O		XTU、XTSU、LTU Tシフト U TSシフト U	
や	ヤ	ゆ	ユ	よ	ヨ	わ	ワ	カ		ケ	
XYA Yシフト A		XYU Yシフト U		XYO Yシフト O		XWA Wシフト A		XKA Kシフト A		XKE Kシフト E	

※N以外の子音を2度入力しても「っ」や「ッ」になります。

ローマ字入力一覧

付録

かな入力時のめくり候補一覧

かな入力するときの、キーを押す回数の一覧表です。

ひらがな入力

画面上の「あ」に⏏が付いていることを確認します。

キーを押す回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
あ	あ	い	う	え	お	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ
か	か	き	く	け	こ	ヵ	ヶ			
さ	さ	し	す	せ	そ					
た	た	ち	つ	て	と	っ				
な	な	に	ぬ	ね	の					
は	は	ひ	ふ	へ	ほ					
ま	ま	み	む	め	も					
や	や	ゆ	よ	ゃ	ゅ	ょ				
ら	ら	り	る	れ	ろ					
わ	わ	を	ん	ー	、	。	ゎ	ゐ	ゑ	

カタカナ入力

[あア]を押して画面上の「ア」に▲を付けます。

キーを押す回数 ＼ 文字キー	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
あ	ア	イ	ウ	エ	オ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ
か	カ	キ	ク	ケ	コ	ヵ	ヶ			
さ	サ	シ	ス	セ	ソ					
た	タ	チ	ツ	テ	ト	ッ				
な	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ					
は	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ					
ま	マ	ミ	ム	メ	モ					
や	ヤ	ユ	ヨ	ャ	ュ	ョ				
ら	ラ	リ	ル	レ	ロ					
わ	ワ	ヲ	ン	ー	、	。	ヮ	ヰ	ヱ	

※ ヴは(ア)モードの時に"ウ"に濁点で入力することができます。

記号・絵文字一覧

記　号

●点など

、。，．・：；？！゛゜￣＿ー‐／～‖｜

…‥‘’“”

●かっこ

（）［］｛｝〈〉《》「」『』

●矢印

→←↑↓⇒⇐⇑⇓⇔⇕☞☜

●数字

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳ⅠⅡⅢⅣⅤⅥⅦⅧⅨⅩ0123456789²³₂₃○10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

●丸など

☆★○●◎◇◆□■△▲▽▼♠♤♥♡♣♧♦♢

●単位

＋－×÷＝℃￥＄％g m² m³ ℓ ㍉ ㌢ ㍍ ㌔ ㌖ ㌘ ㌕ ㌧

●その他

々仝ヽヾゝゞ〃ヴヵヶヮヰヱゎゐゑ〆ー＆＊＠※＃♭♪☎TEL No. 〒 K.K. ♂♀

絵文字

同じ絵文字が複数のグループに入っている場合があります。

●予定

●乗り物

●食べ物

●暮らし

絵文字

●生き物

●ビデオ

●文房具

●注意

●案内

絵文字

●干支

●星座

●その他

フレーム一覧

●イラストフレーム

●飾りフレーム

●文字単位フレーム

定型フォーマット一覧

用途	規格	方向	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅				
					18	12	9	6	3.5
ビデオ(12種類)	VHS	縦		タイトル24文字	○	○	○	–	–
		縦		タイトル24文字 コメント36文字					
		縦		絵文字1文字 タイトル14文字 コメント12文字 コメント12文字 コメント12文字					
		縦		タイトル19文字 コメント12文字 コメント12文字					
	ミニDV	縦		タイトル19文字	○	○	○	–	–
		縦		タイトル19文字 コメント19文字					
		縦		タイトル10文字 コメント8文字 コメント8文字					
		縦		タイトル19文字 コメント19文字 コメント19文字					
	8ミリ	縦		タイトル19文字	○	○	○	–	–
		縦		タイトル19文字 コメント19文字					
		縦		絵文字1文字 タイトル20文字 コメント12文字 コメント12文字					
		縦		タイトル19文字 コメント19文字 コメント19文字					

用途	規格	方向	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅				
					18	12	9	6	3.5
オーディオ(9種類)	MD表	横		タイトル23文字	○	○	○	–	–
		横		タイトル23文字 コメント23文字					
		横		タイトル14文字 コメント8文字 コメント8文字					
		横		タイトル19文字 コメント19文字 コメント19文字					
	MD背	横		タイトル14文字	–	–	–	○	○
	カセット	横		タイトル21文字	○	○	○	–	–
		横		タイトル21文字 コメント21文字					
		横		タイトル24文字 コメント16文字 コメント16文字					
		横		タイトル19文字 コメント19文字 コメント19文字					
ファイル(11種類)	ファイル大	縦		タイトル32文字	○	○	○	–	–
		縦		タイトル24文字 コメント32文字					
		縦		絵文字1文字 タイトル17文字 コメント12文字 コメント12文字 コメント12文字					

用途	規格	方向	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅				
					18	12	9	6	3.5
ファイル(11種類)	ファイル小	縦		タイトル23文字	○	○	○	―	―
		縦		タイトル23文字 コメント34文字					
		縦		絵文字1文字 タイトル16文字 コメント12文字 コメント12文字					
	CD-R表	横		タイトル26文字	○	○	○	―	―
		横		タイトル26文字 コメント26文字					
		横		タイトル16文字 コメント18文字 コメント18文字					
		横		タイトル19文字 コメント19文字 コメント19文字					
	CD-R背	横		タイトル26文字	―	―	―	○	○
期限日(7種類)	賞味	横		用途30文字 日付30文字	○	○	○	―	―
	消費	横		用途30文字 日付30文字	○	○	○	―	―
	開封日	横		用途30文字 日付30文字	○	○	○	―	―
	調理日	横		用途30文字 日付30文字	○	○	○	―	―
	冷凍日	横		用途30文字 日付30文字	○	○	○	―	―
	開始日	横		用途30文字 日付30文字	○	○	○	―	―
	交換日	横		用途30文字 日付30文字	○	○	○	―	―

名前シールフォーマット一覧

※3.5mm/6mm幅テープカートリッジはお使いになれません。

用途	規格	方向	種類	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅				
						18	12	9	6	3.5
えんぴつ巻き(2種類)	えんぴつ巻き	横	1行		名前6文字	○	—	—	—	—
		横	2行		年・組6文字 名前6文字					
小物用(4種類)	小物用	横	2枚		名前30文字	○	○	○	—	—
		横	4枚		名前14文字					
		横	6枚		名前8文字					
		横	8枚		名前6文字					
ノート大(6種類)	基本	横	1行		名前16文字	○	○	○	—	—
		横	2行		年・組24文字 名前16文字					
	フレーム付	横	1行		名前14文字					
		横	2行		年・組28文字 名前14文字					
	絵文字付	横	1行		絵文字1文字 名前14文字					
		横	2行		絵文字1文字 年・組21文字 名前14文字					

用途	規格	方向	種類	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅				
						18	12	9	6	3.5
ノート小（6種類）	基本	横	1行		名前12文字	○	○	○	―	―
		横	2行		年・組18文字 名前12文字					
	フレーム付	横	1行		名前11文字					
		横	2行		年・組22文字 名前11文字					
	絵文字付	横	1行		絵文字1文字 名前14文字					
		横	2行		絵文字1文字 年・組28文字 名前14文字					
住所（6種類）	基本	横	2行		住所40文字 名前20文字	○	○	○※1	―	―
		横	3行		住所24文字 電話22文字 名前12文字					
	フレーム付	横	2行		住所28文字 名前14文字					
		横	3行		住所21文字 電話21文字 名前14文字					
	絵文字付	横	2行		絵文字1文字 住所40文字 名前17文字					
		横	3行		絵文字1文字 住所21文字 電話21文字 名前13文字					

※1　「住所」の「フレーム付」「3行」のフォーマットでは、9mmのテープカートリッジは使用できません。

テープ幅と行数・倍率一覧

印刷可能行数や最大"縦"倍率は、ご使用になるテープの幅やフォーマットによって異なります。

		3.5mm	6mm	9mm	12mm	18mm	取扱説明書参照ページ
最大印刷可能行数	標準フォント	—	1行	1行	2行	3行	54ページ 60ページ 62ページ
	微小フォント	1行	2行	3行	3行	3行	
最大"縦"倍率		縮小 1倍	標準 1倍	標準 2倍	標準 3倍	標準 4倍	60ページ 62ページ

各機能における使用可能テープ幅一覧

	3.5mm	6mm	9mm	12mm	18mm
フリーラベル	○	○	○	○	○
フレーム	×	○※1	○	○	○
定型フォーマット	○	○	○	○	○
名前シール印刷	×	×	○	○	○

※1　文字単位のフレームでは、6mm幅のテープは使用できません。

仕様

形式　　　　:KL-H5

入力

入力方法　:ローマ字入力、かなめくり入力
変換方式　:熟語変換・単漢字変換

辞書

内蔵辞書数 :熟語変換　　約88,000語
　　　　　　単漢字変換　約13,000語

文字種

5,028文字
漢　　字:4,166文字
　　JIS第1水準 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2,965文字
　　JIS第2水準 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1,201文字
ひらがな:83文字
カタカナ:86文字
数　　字:10文字
アルファベット:52文字
記号:187文字
絵　文　字:444文字

表示

液晶表示　:96×16ドット
入力部分　:6桁×1行

印刷

印字密度　:200dpi
印刷方式　:熱転写方式
印字速度　:約6mm/秒
印字幅　　:最大約12mm
　　a)2mm(テープ幅 3.5mm)
　　b)4mm(テープ幅 6mm)
　　c)7mm(テープ幅 9mm)
　　d)10mm(テープ幅 12mm)
　　e)12mm(テープ幅 18mm)

文字構成　：ビットマップフォント
書　　体　：和文（丸ゴシック体／明朝体）
　　　　　　かな・英数（丸ゴシック体／明朝体／メロディ／
　　　　　　プロデュース）
印刷方向　：横書き・縦書き・裏書き
印刷文字体：標準・太字・白抜
文字修飾　：網掛・下線・枠付
印刷行数　：3.5mm幅テープ使用時　1行印刷可能
　　　　　　6mm幅テープ使用時　1～2行印刷可能
　　　　　　9mm幅テープ使用時　1～3行印刷可能
　　　　　　12mm幅テープ使用時　1～3行印刷可能
　　　　　　18mm幅テープ使用時　1～3行印刷可能

内部記憶

文字編集用の記憶　：1件（フリーラベルのみ：63文字）
文字登録用の記憶　：1件（フリーラベルのみ：63文字）
単漢字変換学習　：約10語

登録

テキストエリア一括登録（上書き）

電源・その他

動作用電源：単3形アルカリ乾電池×6本
　　　　　　ACアダプター（AD-A95100L・別売）
　　　　　　※ACアダプターは「AD-A95100IJ」も使用することが
　　　　　　　できます。
消費電力　：9W
オートパワーオフ　：約6分
大きさ　：幅162.5mm×奥行175.5mm×高さ53.4mm
重さ　：約590g（乾電池含む）
使用温度　：10℃～35℃

別売品一覧

別売品のテープカートリッジの最新情報やネームランドの
新製品情報については、以下のURLをご確認ください。
http://www.casio.co.jp/d-stationery/nameland/

●テープカートリッジ

	テープ幅／テープ色/柄	18ミリ 旧形番号(IR-18)	12ミリ 旧形番号(KR-12)	9ミリ 旧形番号(IR-9)	6ミリ 旧形番号(KR-6)	3.5ミリ
スタンダードテープ（8m）	白に黒文字	XR-18WE	XR-12WE	XR-9WE	XR-6WE	XR-3WE
	黄に黒文字	XR-18YW	XR-12YW	XR-9YW	XR-6YW	
	緑に黒文字	XR-18GN	XR-12GN	XR-9GN	XR-6GN	
	赤に黒文字	XR-18RD	XR-12RD	XR-9RD	XR-6RD	
	青に黒文字	XR-18BU	XR-12BU	XR-9BU	XR-6BU	
	白に赤文字	XR-18WER	XR-12WER	XR-9WER		
	白に青文字	XR-18WEB	XR-12WEB	XR-9WEB		
	金に黒文字	XR-18GD	XR-12GD	XR-9GD		
	銀に黒文字	XR-18SR	XR-12SR	XR-9SR		
	黒に金文字	XR-18BKG		XR-9BKG		
	黒に銀文字	XR-18BKS		XR-9BKS		
	透明に黒文字	XR-18X	XR-12X	XR-9X	XR-6X	XR-3X
	透明に金文字	XR-18XG		XR-9XG		
	透明に銀文字	XR-18XS		XR-9XS		
	透明に赤文字	XR-18XRD		XR-9XRD		
白文字テープ（8m）	緑に白文字	XR-18AGN	XR-12AGN	XR-9AGN		
	赤に白文字	XR-18ARD	XR-12ARD	XR-9ARD		
	青に白文字	XR-18ABU	XR-12ABU	XR-9ABU		
	黒に白文字	XR-18ABK	XR-12ABK	XR-9ABK		
	透明に白文字	XR-18AX	XR-12AX	XR-9AX		

	テープ幅 / テープ色/柄	18ミリ 旧形番号(IR-18F)	12ミリ	9ミリ	6ミリ
蛍光色テープ(5.5m)	蛍光ピンクに黒文字	XR-18FPK	XR-12FPK	XR-9FPK	
	蛍光赤に黒文字	XR-18FRD	XR-12FRD	XR-9FRD	
	蛍光オレンジに黒文字	XR-18FOE	XR-12FOE	XR-9FOE	
	蛍光黄に黒文字	XR-18FYW	XR-12FYW	XR-9FYW	
	蛍光緑に黒文字	XR-18FGN	XR-12FGN	XR-9FGN	
メンディングテープ(8m)	黒文字	XR-18MBK		XR-9MBK	
布転写テープ(5m)	黒文字で布地に転写	XR-118BK			
	赤文字で布地に転写	XR-118RD			
	青文字で布地に転写	XR-118BU			
インスタントレタリングテープ(8m)	黒文字	XR-18LBK			
反射テープ(1.5m)	反射黄に黒文字	XR-18RYW			

メンディングテープ
表面をつや消し加工したマットタイプのテープで、貼っても目立たず、コピーしたときでも影が出にくいテープです。また、光らないため図面の修正などに便利です。

布転写テープ
印刷した文字をアイロンを使ってお子様の衣類などに転写するときに使います。*1

インスタントレタリングテープ
印刷した文字だけをノートなどの紙に転写するときに使います。*2

反射テープ
ヘッドライトや懐中電灯等の光に反射するテープで、夜間の安全対策に便利です。*3

*1 化繊、ウール、絹、デニム、パイルなど、布地によっては転写できない場合があります。

*2 転写先の紙質によっては転写できない場合があります。

*3 特殊テープのため別売の「マグネットテープ用ハサミ」または市販のハサミを使ってカットしてください。

	テープ幅 / テープ色/柄	18ミリ	12ミリ	9ミリ	6ミリ
サンリオキャラクターテープ（5.5m）	ハローキティ	XR-18S1			
	けろけろけろっぴ	XR-18S2			
	ポチャッコ	XR-18S3			
	バッドばつ丸	XR-18S4			
	バッドばつ丸とその仲間	XR-18S5			
	ハローキティ・りんご	XR-18SS1			
	ハローキティ・リボン	XR-18SS2			
	ウサハナとおともだち	XR-18SS3			
	ウサハナ	XR-18SS4			
	シンカンセン	XR-18SS5			
強粘着テープ（5.5m）	白に黒文字	XR-18GWE	XR-12GWE	XR-9GWE	
	透明に黒文字	XR-18GX	XR-12GX	XR-9GX	
	黄に黒文字	XR-18GYW	XR-12GYW	XR-9GYW	
抗菌テープ（5.5m）	白に黒文字	XR-18BWE	XR-12BWE	XR-9BWE	
	透明に黒文字	XR-18BX	XR-12BX	XR-9BX	
	青に黒文字	XR-18BBU	XR-12BBU	XR-9BBU	

サンリオキャラクターテープ
サンリオキャラクターの絵柄が入った楽しいテープです。

強粘着テープ
接着しにくい場所に貼り付けるときや、長期間にわたってラベルを貼り付けておくときに便利です。

抗菌テープ
抗菌剤を配合することにより、細菌の増殖を抑制する作用があります。
共同で使用するものや、キッチン周りで使用する場合に便利です。

	テープ幅 テープ色/柄	18ミリ	12ミリ	9ミリ	6ミリ
カラーラインテープ（4.0m）	赤に黒文字	XR-18TRD	XR-12TRD		
	青に黒文字	XR-18TBU	XR-12TBU		
	黄に黒文字	XR-18TYW	XR-12TYW		
	緑に黒文字	XR-18TGN	XR-12TGN		

カラーラインテープ
白地にカラーラインが入ったテープです。ファイルなどジャンルの分類に便利です。

会議資料

ラインの色によりジャンルを分類できます。

● 専用ACアダプター
AD-A95100L
※AD-A95100IJも使用することができます。

● クリーニングテープ
XR-18CLE
長期間ご使用になると、プリンターヘッドにホコリがたまることがあります。クリーニングテープを使えば、そのホコリ等を取り除くことができ、きれいな文字を印刷できます。

● ネームランド用ハサミ
CU-10
9ミリ幅〜18ミリ幅テープのカドを丸くしたり、カット部を波型に仕上げることができます。

● マグネットテープ用ハサミ
CU-15J
本機に装着されているカッターの消耗を避けるためのハサミです。

※品切れの際はご容赦ください。
※別売品については一部予告なしに変更となる可能性があります。

索引

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行

わ行